Business　Survey　Index　　令和 4 年 1-3 月 第 133 回

企業経営者意識調査

令和 4 年 1-3 月の概要

P 1

調査結果

1　経営状況　P 4
2　雇用状況　P 8
3　在庫、価格水準　P 12
4　設備投資の状況　P 14
5　地域別にみる各産業の動向　P 16
6　道内の景況感　P 24
7　業種・地域別企業経営者の声　P 25
8　業況感の長期推移　P 31

特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 32
2　原油・原材料価格高騰の影響について　P 41

調査方法

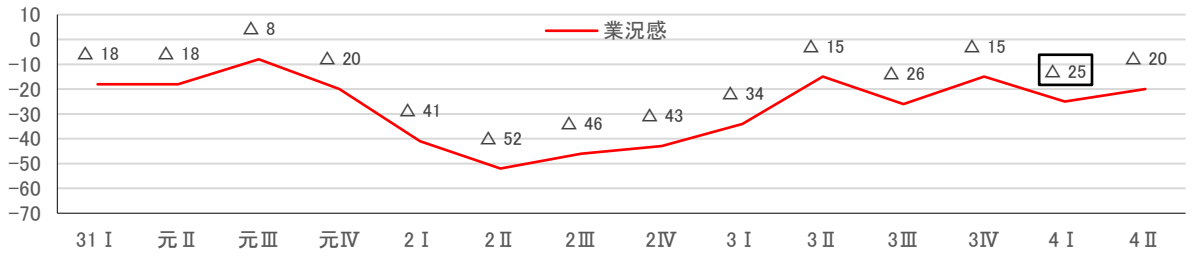
P 43

1　令和４年 1-3 月の概要

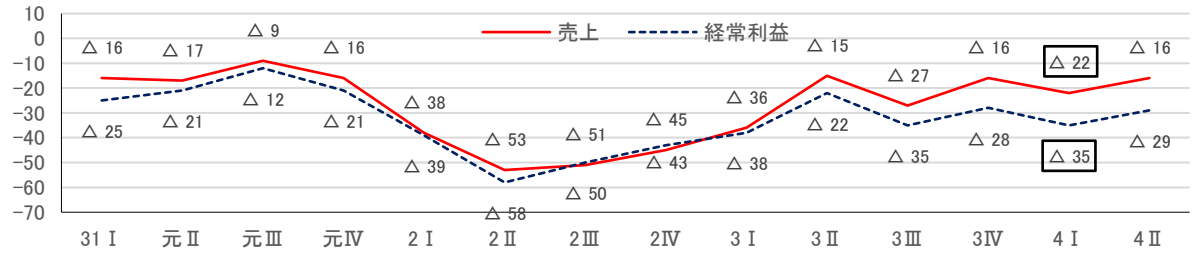
1　概　況

- □ 調査対象企業数 900 社、回答社数 553 社、回答率 61.4%。
- □ 業況感は、前期から 10 ポイント下降し△25 ポイント。来期見通しは△20 ポイント。
- □ 売上は、前期から 6 ポイント下降し△22 ポイント。
- □ 経常利益は、前期から７ポイント下降し△35 ポイント。
- □ 資金繰りは、前期から６ポイント下降し△16 ポイント。
- □ 雇用者の不足感は、前期から３ポイント下降し 36 ポイント。
- □ 原材料価格（製造業）は、前期から 11 ポイント上昇し 88 ポイント。
- □ 仕入価格（卸売･小売業）は、前期から 2 ポイント下降し 61 ポイント。
- □ 道内の景況感は、前期から 31 ポイント下降し△44 ポイント。

（１）業況感（「上昇」－「下降」）

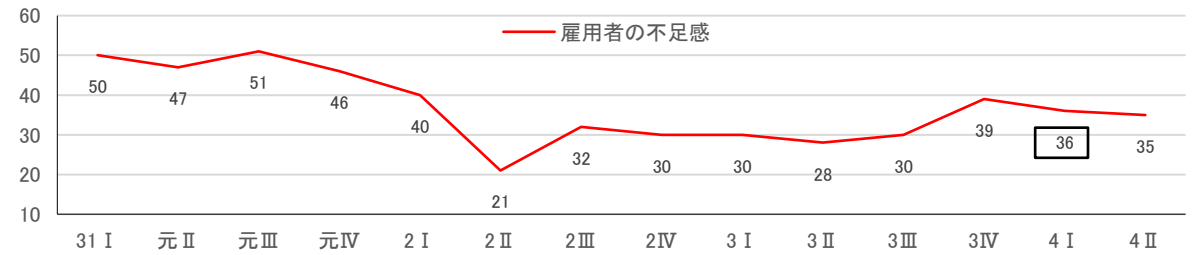


（２）売上･経常利益（「増加」－「減少」）

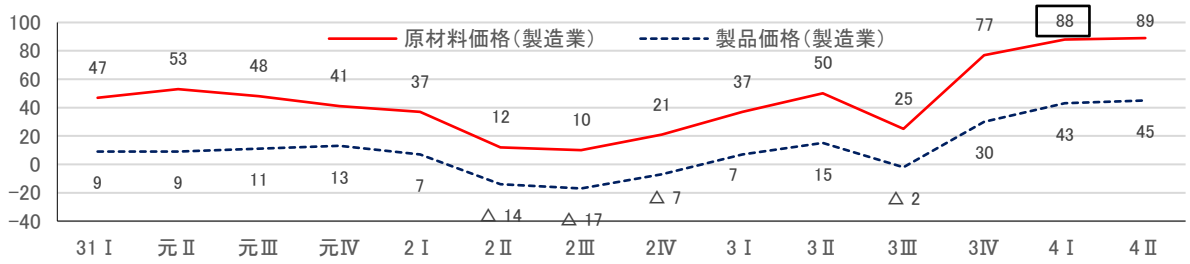


（３）資金繰り（「改善」－「悪化」）

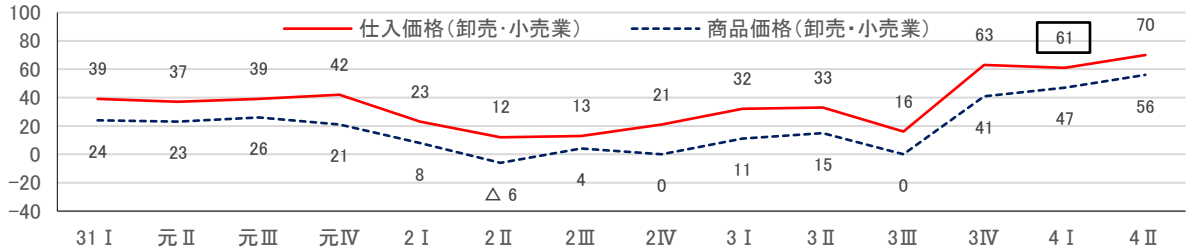
（４）雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



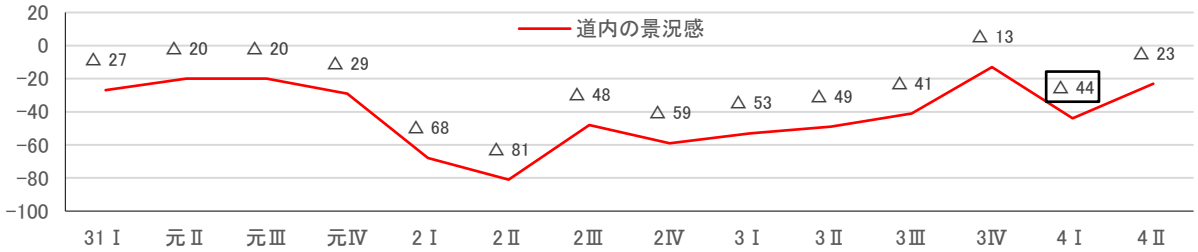
（５）原材料価格・製品価格［製造業］（「上昇」－「下降」）



（６）仕入価格・商品価格［卸売･小売業］（「上昇」－「下降」）



（７）道内の景況感（「上昇」－「下降」）



２　業種別･地域別の業況感

□ 業種別では、建設業で上昇し、その他の業種で下降。
□ 地域別では、道北地域、オホーツク地域で上昇し、その他の地域で下降。

（１）今期実績と来期見通し

区　分		R3年10−12月実績	R4年1−3月実績					R4年4−6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 15	10	55	35	△ 25	△ 10	8	64	28	△ 20	5
業種	建設業	△ 17	6	76	18	△ 12	5	2	78	20	△ 18	△ 6
	製造業	△ 4	17	43	40	△ 23	△ 19	8	60	32	△ 24	△ 1
	卸売･小売業	△ 15	8	47	45	△ 37	△ 22	7	63	30	△ 23	14
	運輸業	△ 19	10	50	40	△ 30	△ 11	4	63	33	△ 29	1
	サービス業	△ 19	10	58	32	△ 22	△ 3	14	60	26	△ 12	10
資本金	5千万円未満	△ 20	10	52	38	△ 28	△ 8	6	60	34	△ 28	0
	5千万以上～1億円未満	△ 8	7	62	31	△ 24	△ 16	10	67	23	△ 13	11
	1億円以上	△ 4	15	58	27	△ 12	△ 8	12	79	9	3	15
地域	道南	△ 27	8	55	37	△ 29	△ 2	3	65	32	△ 29	0
	道央	△ 10	8	54	38	△ 30	△ 20	10	68	22	△ 12	18
	道北	△ 23	17	50	33	△ 16	7	9	58	33	△ 24	△ 8
	オホーツク	△ 16	17	53	30	△ 13	3	6	62	32	△ 26	△ 13
	十勝	△ 9	9	65	26	△ 17	△ 8	7	64	29	△ 22	△ 5
	釧路･根室	△ 15	9	51	40	△ 31	△ 16	5	61	34	△ 29	2

（２）業種別の主な上昇･下降業種［中分類］　（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （△17→△12）	総合工事業（△15→△12）	
製造業 （△4→△23）	パルプ・紙・紙加工品製造業（△50→16）	食料品製造業（11→△27） 木材・木製品製造業（71→63） 窯業・土石製品製造業（0→△18） 金属製品製造業（△9→△44）
卸売･小売業 （△15→△37）	その他の小売業（△50→△25）	飲食料品卸売業（0→△32） 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 （10→△39） 機械器具小売業（△45→△53）
運輸業 （△19→△30）	道路貨物運送業（△38→△28）	道路旅客運送業（0→△48） 倉庫業（△12→△18）
サービス業 （△19→△22）	物品賃貸業（△37→△9） 技術サービス業（△24→△20） 宿泊業（△17→△6）	情報サービス業（△5→△12） 飲食店（△19→△69） 自動車整備業（△20→△40）

（３）地域別の上昇･下降業種［大分類］　（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

地　域	上昇業種	下降業種
道南（△27→△29）	建設業（△25→△18）	製造業（△9→△13） 卸売･小売業（△33→△40） 運輸業（△27→△38） サービス業（△33→△38）
道央（△10→△30）	建設業（△23→△20）	製造業（△9→△36） 卸売･小売業（△6→△47） 運輸業（△4→△30） サービス業（△11→△21）
道北（△23→△16）	建設業（△13→0） 卸売･小売業（△13→△7） サービス業（△41→△21）	製造業（12→△17） 運輸業（△43→△46）
オホーツク（△16→△13）	卸売･小売業（△46→△36） 運輸業（△22→△16） サービス業（△18→30）	建設業（△9→△22） 製造業（8→△18）
十勝（△9→△17）	サービス業（△26→△20）	建設業（11→0） 製造業（9→△8） 卸売･小売業（△8→△40） 運輸業（△17→△25）
釧路･根室（△15→△31）	建設業（△27→△10） 製造業（△27→△25）	卸売･小売業（△14→△38） 運輸業（△18→△34） サービス業（7→△43）

2　調査結果

1　経営状況

（1）業況感

今期の業況感ＢＳＩは △ 25（前期から 10 ポイント下降）

・業種別にみると、建設業でマイナス幅縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道北、オホーツクでマイナス幅が縮小、道南、道央、十勝、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の業況感ＢＳＩは △ 20（今期から 5 ポイント上昇）

図1－(1)　業況感

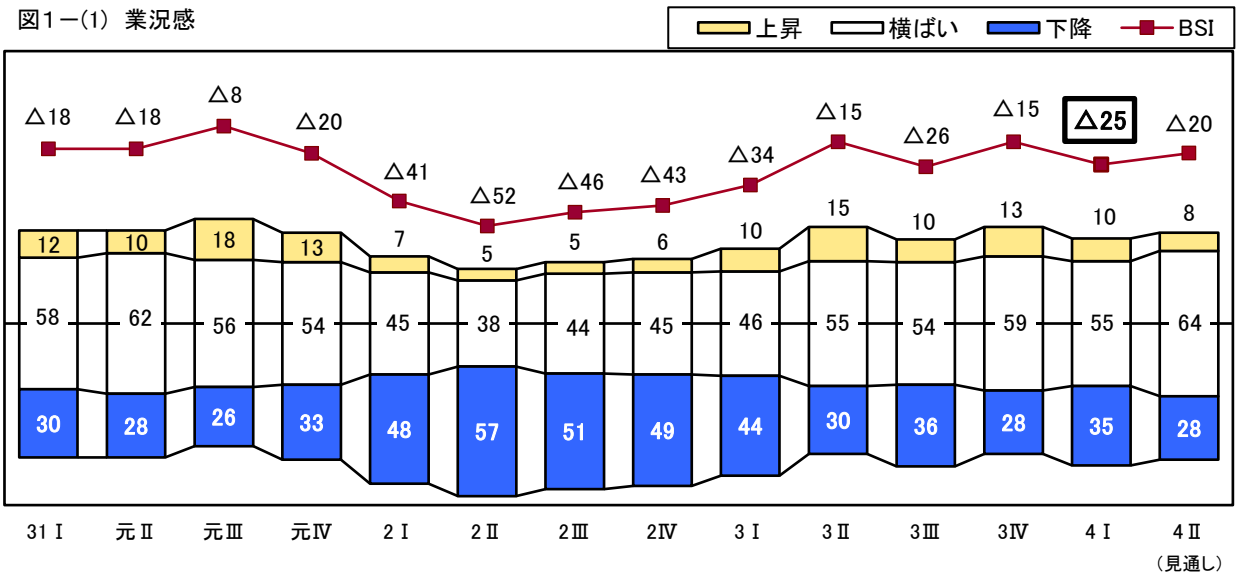


表1-(1)　業況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 15	10	55	35	△ 25	△ 10	8	64	28	△ 20	5
	札幌市を除く	△ 19	11	53	36	△ 25	△ 6	7	63	30	△ 23	2
	札幌市	0	8	61	31	△ 23	△ 23	13	68	19	△ 6	17
業種	建設業	△ 17	6	76	18	△ 12	5	2	78	20	△ 18	△ 6
	製造業	△ 4	17	43	40	△ 23	△ 19	8	60	32	△ 24	△ 1
	卸売･小売業	△ 15	8	47	45	△ 37	△ 22	7	63	30	△ 23	14
	運輸業	△ 19	10	50	40	△ 30	△ 11	4	63	33	△ 29	1
	サービス業	△ 19	10	58	32	△ 22	△ 3	14	60	26	△ 12	10
資本金	5千万円未満	△ 20	10	52	38	△ 28	△ 8	6	60	34	△ 28	0
	5千万以上～1億円未満	△ 8	7	62	31	△ 24	△ 16	10	67	23	△ 13	11
	1億円以上	△ 4	15	58	27	△ 12	△ 8	12	79	9	3	15
地域	道南	△ 27	8	55	37	△ 29	△ 2	3	65	32	△ 29	0
	道央	△ 10	8	54	38	△ 30	△ 20	10	68	22	△ 12	18
	札幌市を除く	△ 20	8	48	44	△ 36	△ 16	8	66	26	△ 18	18
	札幌市	0	8	61	31	△ 23	△ 23	13	68	19	△ 6	17
	道北	△ 23	17	50	33	△ 16	7	9	58	33	△ 24	△ 8
	オホーツク	△ 16	17	53	30	△ 13	3	6	62	32	△ 26	△ 13
	十勝	△ 9	9	65	26	△ 17	△ 8	7	64	29	△ 22	△ 5
	釧路･根室	△ 15	9	51	40	△ 31	△ 16	5	61	34	△ 29	2

（２）売上（生産）高

今期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 22 （前期から６ポイント下降）

・業種別でみると、建設業でマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅拡大
・地域別でみると、オホーツク、十勝でマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 16（今期から６ポイント上昇）

図1－(2) 売上(生産)高

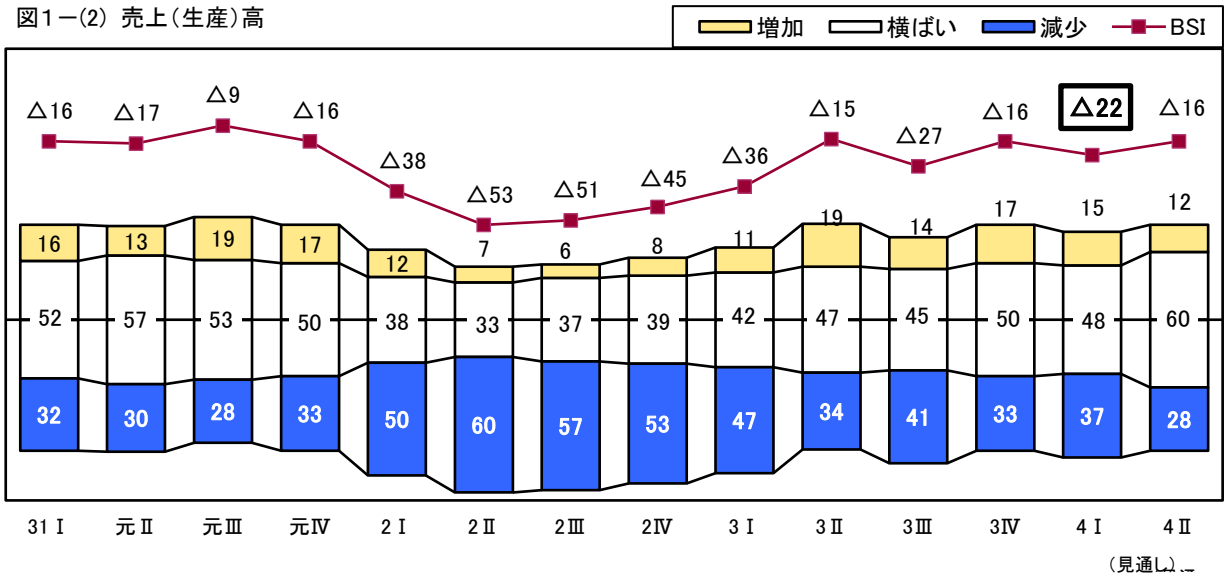


表1-(2)　売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区　分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 16	15	48	37	△ 22	△ 6	12	60	28	△ 16	6
	札幌市を除く	△ 19	16	47	37	△ 21	△ 2	10	60	30	△ 20	1
	札幌市	△ 5	14	48	38	△ 24	△ 19	18	62	20	△ 2	22
業種	建設業	△ 21	14	54	32	△ 18	3	3	69	28	△ 25	△ 7
	製造業	△ 6	21	41	38	△ 17	△ 11	19	55	26	△ 7	10
	卸売･小売業	△ 13	15	43	42	△ 27	△ 14	13	63	24	△ 11	16
	運輸業	△ 21	13	51	36	△ 23	△ 2	7	67	26	△ 19	4
	サービス業	△ 18	13	50	37	△ 24	△ 6	15	54	31	△ 16	8
資本金	5千万円未満	△ 22	14	45	41	△ 27	△ 5	9	57	34	△ 25	2
	5千万以上～1億円未満	△ 15	10	55	35	△ 25	△ 10	11	67	22	△ 11	14
	1億円以上	8	26	53	21	5	△ 3	26	69	5	21	16
地域	道南	△ 30	8	48	44	△ 36	△ 6	6	63	31	△ 25	11
	道央	△ 13	13	48	39	△ 26	△ 13	16	61	23	△ 7	19
	札幌市を除く	△ 20	12	47	41	△ 29	△ 9	13	61	26	△ 13	16
	札幌市	△ 5	14	48	38	△ 24	△ 19	18	62	20	△ 2	22
	道北	△ 13	19	46	35	△ 16	△ 3	9	60	31	△ 22	△ 6
	オホーツク	△ 20	21	51	28	△ 7	13	12	63	25	△ 13	△ 6
	十勝	△ 15	21	44	35	△ 14	1	9	59	32	△ 23	△ 9
	釧路･根室	△ 13	16	50	34	△ 18	△ 5	12	50	38	△ 26	△ 8

（３）経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △ 35（前期から７ポイント下降）

・業種別でみると、建設業でマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅拡大
・地域別でみると、オホーツク、十勝でマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の経常利益ＢＳＩは △ 29（今期から６ポイント上昇）

図１－(3) 経常利益

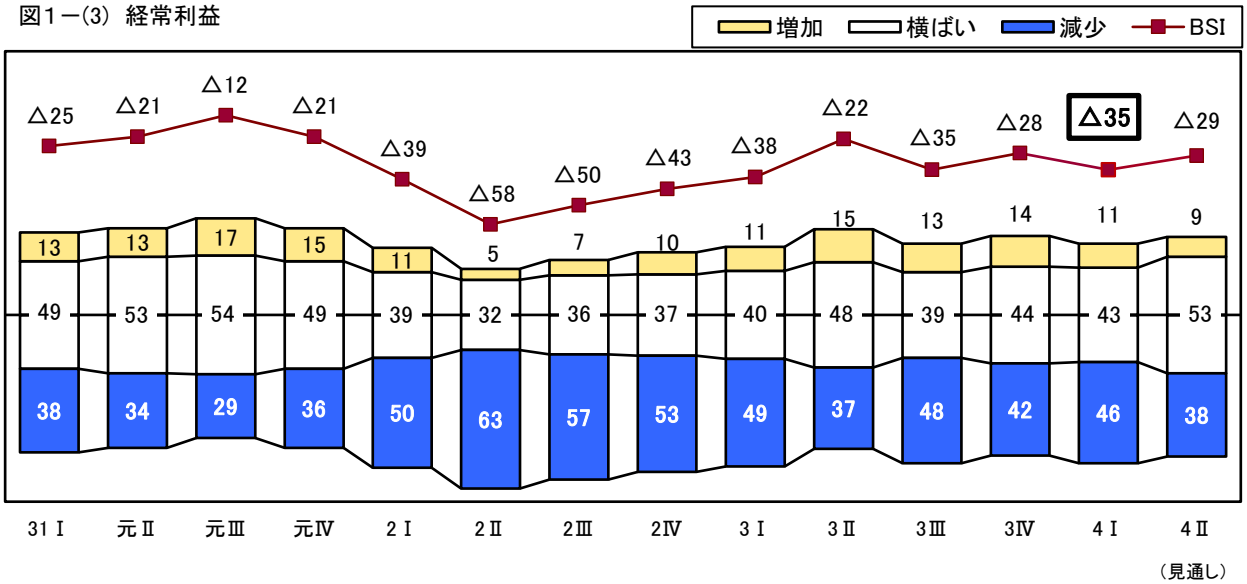


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 28	11	43	46	△ 35	△ 7	9	53	38	△ 29	6
	札幌市を除く	△ 32	12	42	46	△ 34	△ 2	7	54	39	△ 32	2
	札幌市	△ 13	11	45	44	△ 33	△ 20	14	53	33	△ 19	14
業種	建設業	△ 34	16	45	39	△ 23	11	2	64	34	△ 32	△ 9
	製造業	△ 18	11	42	47	△ 36	△ 18	11	55	34	△ 23	13
	卸売･小売業	△ 20	11	41	48	△ 37	△ 17	9	51	40	△ 31	6
	運輸業	△ 43	7	39	54	△ 47	△ 4	5	52	43	△ 38	9
	サービス業	△ 26	12	44	44	△ 32	△ 6	12	50	38	△ 26	6
資本金	5千万円未満	△ 33	10	42	48	△ 38	△ 5	6	51	43	△ 37	1
	5千万以上～1億円未満	△ 21	10	44	46	△ 36	△ 15	10	55	35	△ 25	11
	1億円以上	△ 10	20	45	35	△ 15	△ 5	20	64	16	4	19
地域	道南	△ 39	5	43	52	△ 47	△ 8	5	56	39	△ 34	13
	道央	△ 23	10	43	47	△ 37	△ 14	12	54	34	△ 22	15
	札幌市を除く	△ 33	9	41	50	△ 41	△ 8	10	55	35	△ 25	16
	札幌市	△ 13	11	45	44	△ 33	△ 20	14	53	33	△ 19	14
	道北	△ 22	16	39	45	△ 29	△ 7	6	52	42	△ 36	△ 7
	オホーツク	△ 30	11	53	36	△ 25	5	4	57	39	△ 35	△ 10
	十勝	△ 30	19	35	46	△ 27	3	7	55	38	△ 31	△ 4
	釧路･根室	△ 34	9	44	47	△ 38	△ 4	9	48	43	△ 34	4

（４）資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △ 16（前期から６ポイント下降）

・業種別にみると、建設業でプラスに転換、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道北でマイナス幅が縮小、道南、道央、オホーツク、十勝、釧路・根室マイナス幅が拡大

来期の資金繰りＢＳＩは △ 15（今期から１ポイント上昇）

図１－(4) 資金繰り

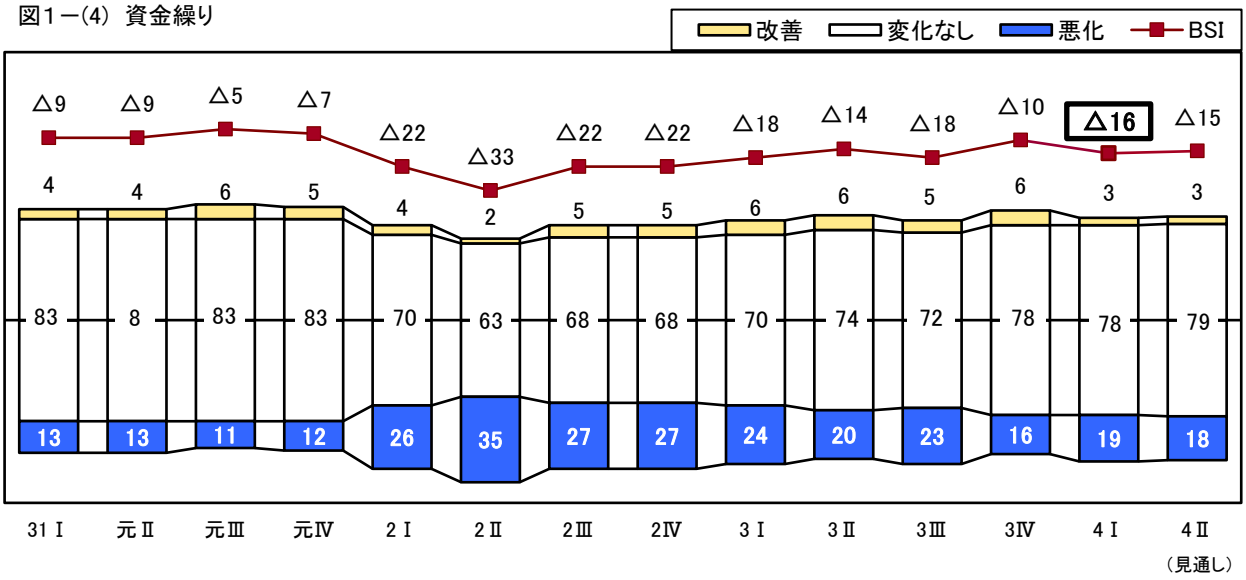


表1-(4) 資金繰り（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計		△ 10	3	78	19	△ 16	△ 6	3	79	18	△ 15	1
	札幌市を除く	△ 13	3	79	18	△ 15	△ 2	2	79	19	△ 17	△ 2
	札幌市	△ 2	3	76	21	△ 18	△ 16	8	78	14	△ 6	12
業種	建設業	△ 1	6	91	3	3	4	1	91	8	△ 7	△ 10
	製造業	△ 8	2	77	21	△ 19	△ 11	1	82	17	△ 16	3
	卸売･小売業	△ 7	2	82	16	△ 14	△ 7	2	81	17	△ 15	△ 1
	運輸業	△ 9	1	82	17	△ 16	△ 7	2	78	20	△ 18	△ 2
	サービス業	△ 19	4	67	29	△ 25	△ 6	6	70	24	△ 18	7
資本金	5千万円未満	△ 15	3	74	23	△ 20	△ 5	4	73	23	△ 19	1
	5千万以上～1億円未満	△ 4	5	83	12	△ 7	△ 3	1	88	11	△ 10	△ 3
	1億円以上	2	2	89	9	△ 7	△ 9	2	91	7	△ 5	2
地域	道南	△ 19	2	75	23	△ 21	△ 2	2	77	21	△ 19	2
	道央	△ 7	4	75	21	△ 17	△ 10	5	77	18	△ 13	4
	札幌市を除く	△ 10	4	75	21	△ 17	△ 7	2	76	22	△ 20	△ 3
	札幌市	△ 2	3	76	21	△ 18	△ 16	8	78	14	△ 6	12
	道北	△ 11	4	82	14	△ 10	1	2	80	18	△ 16	△ 6
	オホーツク	△ 12	0	83	17	△ 17	△ 5	0	83	17	△ 17	0
	十勝	△ 10	4	80	16	△ 12	△ 2	2	78	20	△ 18	△ 6
	釧路･根室	△ 13	3	78	19	△ 16	△ 3	3	80	17	△ 14	2

2　雇用状況

（1）雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △ 13（前期から２ポイント下降）

・業種別にみると、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業、卸売・小売業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南、オホーツクでマイナス幅が縮小、十勝が横ばい、道央、道北、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは １（今期から 14 ポイント上昇）

図2－(1) 雇用者総数

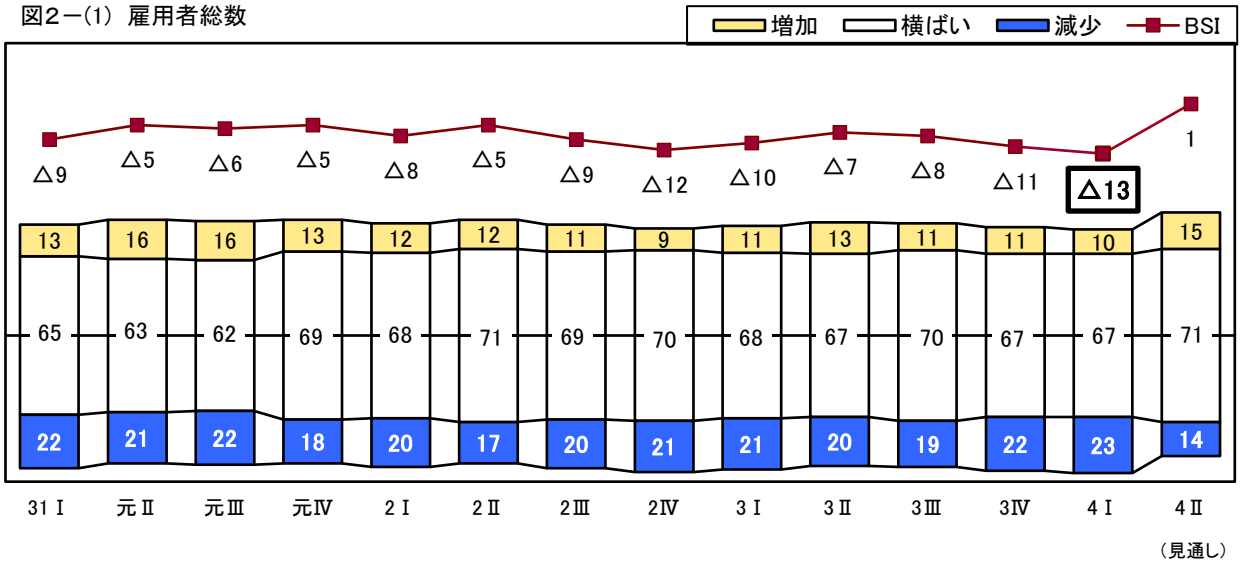


表2-(1) 雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 11	10	67	23	△ 13	△ 2	15	71	14	1	14
	札幌市を除く	△ 12	10	67	23	△ 13	△ 1	14	71	15	△ 1	12
	札幌市	△ 5	12	65	23	△ 11	△ 6	21	70	9	12	23
業種	建設業	△ 3	13	67	20	△ 7	△ 4	19	70	11	8	15
	製造業	△ 5	12	59	29	△ 17	△ 12	15	68	17	△ 2	15
	卸売･小売業	△ 4	12	70	18	△ 6	△ 2	16	72	12	4	10
	運輸業	△ 20	6	71	23	△ 17	3	10	73	17	△ 7	10
	サービス業	△ 15	9	68	23	△ 14	1	15	73	12	3	17
資本金	5千万円未満	△ 14	9	70	21	△ 12	2	11	73	16	△ 5	7
	5千万以上～1億円未満	△ 10	11	63	26	△ 15	△ 5	21	67	12	9	24
	1億円以上	7	12	62	26	△ 14	△ 21	25	68	7	18	32
地域	道南	△ 9	8	76	16	△ 8	1	10	77	13	△ 3	5
	道央	△ 9	9	67	24	△ 15	△ 6	16	72	12	4	19
	札幌市を除く	△ 14	7	67	26	△ 19	△ 5	11	73	16	△ 5	14
	札幌市	△ 5	12	65	23	△ 11	△ 6	21	70	9	12	23
	道北	△ 12	10	64	26	△ 16	△ 4	16	66	18	△ 2	14
	オホーツク	△ 13	15	62	23	△ 8	5	15	72	13	2	10
	十勝	0	14	72	14	0	0	20	71	9	11	11
	釧路･根室	△ 17	9	63	28	△ 19	△ 2	12	69	19	△ 7	12

（２）雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 36（前期から３ポイント下降）

・業種別にみると、卸売・小売業でプラス幅が拡大、建設業、製造業、運輸業、サービス業でプラス幅が縮小
・地域別にみると、道南、オホーツクでプラス幅が拡大、十勝で横ばい、道央、道北、釧路・根室でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 35（今期から１ポイント下降）

図２－(2) 雇用者の不足感

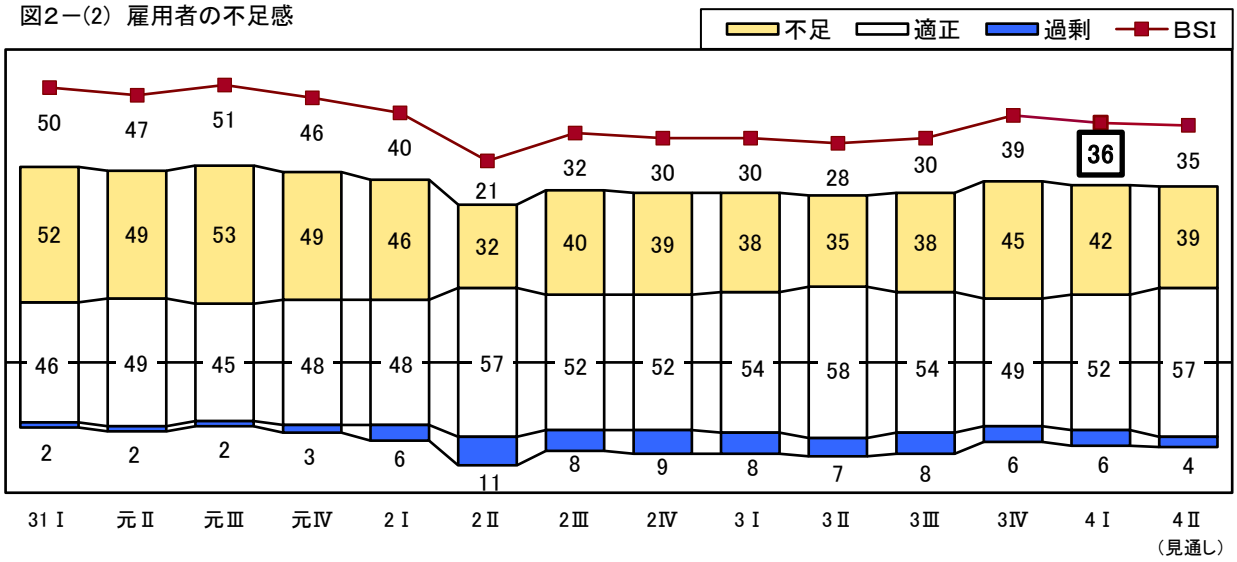


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計		39	42	52	6	36	△ 3	39	57	4	35	△ 1
	札幌市を除く	41	43	52	5	38	△ 3	41	55	4	37	△ 1
	札幌市	33	38	54	8	30	△ 3	31	62	7	24	△ 6
業種	建設業	62	61	36	3	58	△ 4	63	35	2	61	3
	製造業	41	40	54	6	34	△ 7	33	62	5	28	△ 6
	卸売･小売業	26	35	60	5	30	4	30	66	4	26	△ 4
	運輸業	47	49	46	5	44	△ 3	43	53	4	39	△ 5
	サービス業	30	33	59	8	25	△ 5	32	63	5	27	2
資本金	5千万円未満	36	38	55	7	31	△ 5	37	58	5	32	1
	5千万以上～1億円未満	48	53	44	3	50	2	47	50	3	44	△ 6
	1億円以上	36	43	53	4	39	3	32	64	4	28	△ 11
地域	道南	35	42	53	5	37	2	40	55	5	35	△ 2
	道央	32	38	54	8	30	△ 2	36	58	6	30	0
	札幌市を除く	33	39	53	8	31	△ 2	42	54	4	38	7
	札幌市	33	38	54	8	30	△ 3	31	62	7	24	△ 6
	道北	51	45	51	4	41	△ 10	46	52	2	44	3
	オホーツク	40	47	49	4	43	3	42	56	2	40	△ 3
	十勝	44	49	46	5	44	0	36	60	4	32	△ 12
	釧路･根室	46	39	57	4	35	△ 11	35	61	4	31	△ 4

（３）残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは △ 20（前期から６ポイント下降）

・業種別にみると、製造業でマイナスに転換、建設業、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、オホーツクでマイナス幅が縮小、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の残業時間ＢＳＩは △ 15（今期から５ポイント上昇）

図２－(3) 残業時間

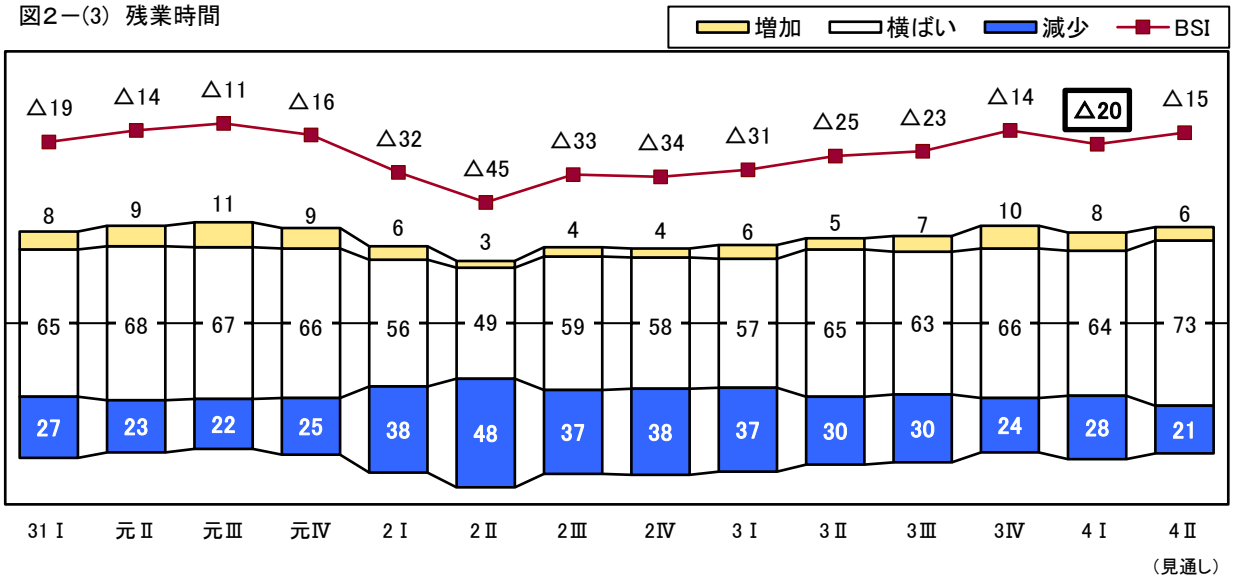


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 14	8	64	28	△ 20	△ 6	6	73	21	△ 15	5
	札幌市を除く	△ 17	8	64	28	△ 20	△ 3	6	73	21	△ 15	5
	札幌市	△ 9	8	66	26	△ 18	△ 9	8	73	19	△ 11	7
業種	建設業	△ 18	8	62	30	△ 22	△ 4	3	69	28	△ 25	△ 3
	製造業	0	13	62	25	△ 12	△ 12	11	69	20	△ 9	3
	卸売･小売業	△ 12	6	74	20	△ 14	△ 2	5	81	14	△ 9	5
	運輸業	△ 17	8	61	31	△ 23	△ 6	4	72	24	△ 20	3
	サービス業	△ 22	6	64	30	△ 24	△ 2	8	71	21	△ 13	11
資本金	5千万円未満	△ 17	8	61	31	△ 23	△ 6	5	71	24	△ 19	4
	5千万以上～1億円未満	△ 12	6	68	26	△ 20	△ 8	7	74	19	△ 12	8
	1億円以上	△ 8	12	76	12	0	8	11	80	9	2	2
地域	道南	△ 17	3	71	26	△ 23	△ 6	5	72	23	△ 18	5
	道央	△ 13	7	64	29	△ 22	△ 9	9	73	18	△ 9	13
	札幌市を除く	△ 17	7	60	33	△ 26	△ 9	11	72	17	△ 6	20
	札幌市	△ 9	8	66	26	△ 18	△ 9	8	73	19	△ 11	7
	道北	△ 12	11	64	25	△ 14	△ 2	6	72	22	△ 16	△ 2
	オホーツク	△ 29	12	63	25	△ 13	16	2	71	27	△ 25	△ 12
	十勝	△ 9	9	63	28	△ 19	△ 10	2	78	20	△ 18	1
	釧路･根室	△ 15	7	67	26	△ 19	△ 4	5	72	23	△ 18	1

（４） １人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは 22（前期から５ポイント下降）

・業種別、地域別ともに、全ての業種、地域でプラス幅が縮小

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは 28（今期から６ポイント上昇）

図２－(4) １人当たり賃金

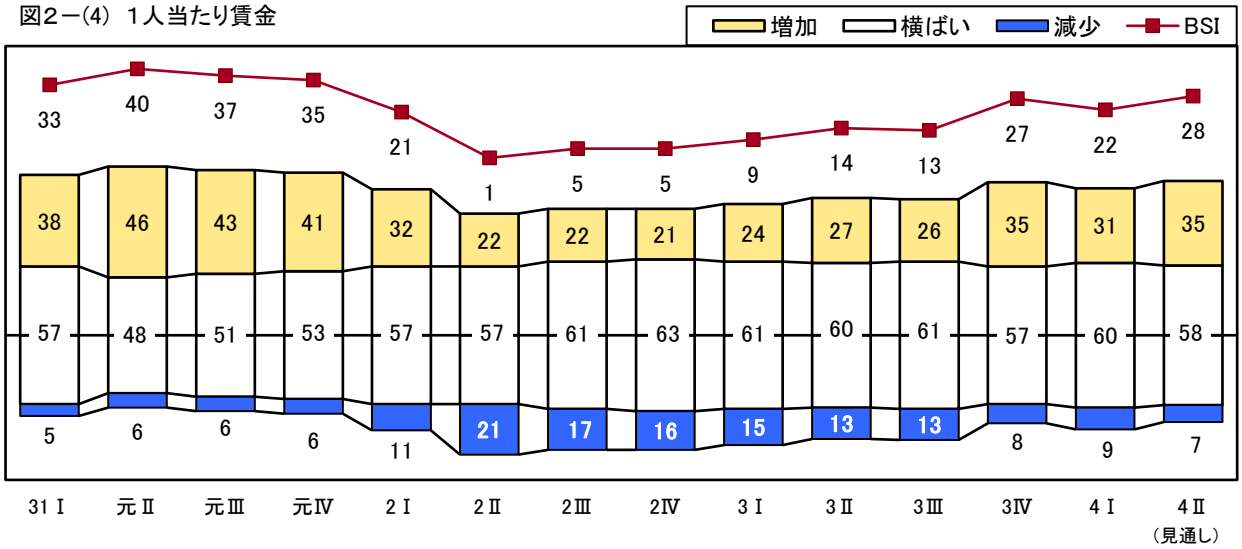


表2-(4) １人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区 分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		27	31	60	9	22	△ 5	35	58	7	28	6
	札幌市を除く	27	32	58	10	22	△ 5	34	58	8	26	4
	札幌市	24	28	65	7	21	△ 3	38	58	4	34	13
業種	建設業	42	43	51	6	37	△ 5	60	37	3	57	20
	製造業	38	37	56	7	30	△ 8	41	53	6	35	5
	卸売･小売業	34	33	61	6	27	△ 7	30	65	5	25	△ 2
	運輸業	10	19	63	18	1	△ 9	27	61	12	15	14
	サービス業	17	26	63	11	15	△ 2	26	66	8	18	3
資本金	5千万円未満	24	31	58	11	20	△ 4	32	59	9	23	3
	5千万以上～1億円未満	31	34	58	8	26	△ 5	45	51	4	41	15
	1億円以上	31	26	70	4	22	△ 9	37	63	0	37	15
地域	道南	27	34	56	10	24	△ 3	29	63	8	21	△ 3
	道央	19	25	64	11	14	△ 5	32	60	8	24	10
	札幌市を除く	13	23	61	16	7	△ 6	26	63	11	15	8
	札幌市	24	28	65	7	21	△ 3	38	58	4	34	13
	道北	37	35	57	8	27	△ 10	39	55	6	33	6
	オホーツク	32	32	60	8	24	△ 8	40	56	4	36	12
	十勝	29	35	56	9	26	△ 3	39	54	7	32	6
	釧路･根室	39	42	53	5	37	△ 2	40	53	7	33	△ 4

3　在庫、価格水準

（1）製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「過大」が横ばい「適正」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」、「下降」が拡大、「横ばい」が縮小
・製品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、「適正」が拡大、「過大」が横ばい、「不足」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が横ばい、「下降」が縮小
・製品価格は、「上昇」、「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

図3－(1) 製品在庫水準

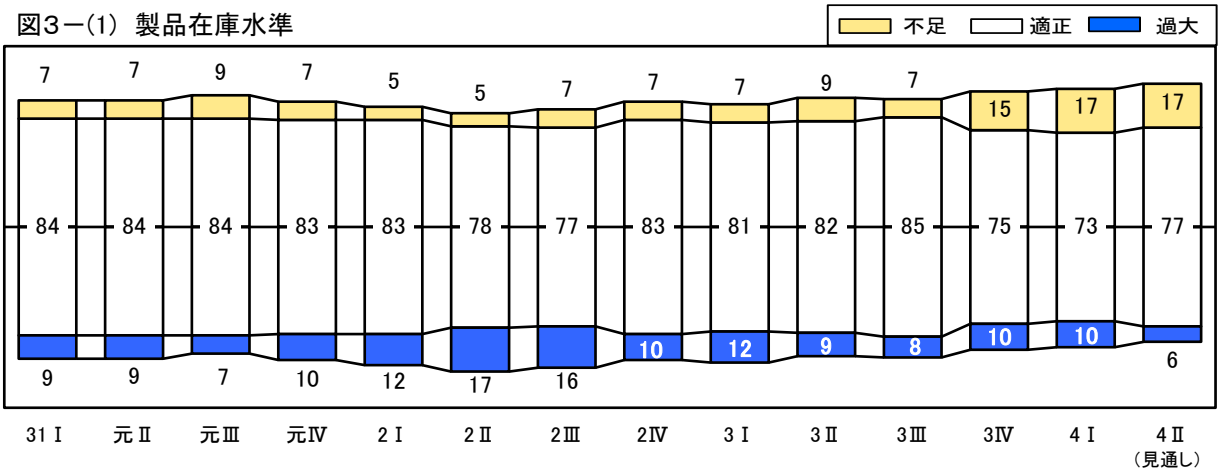


図3－(2) 仕入価格（原材料）

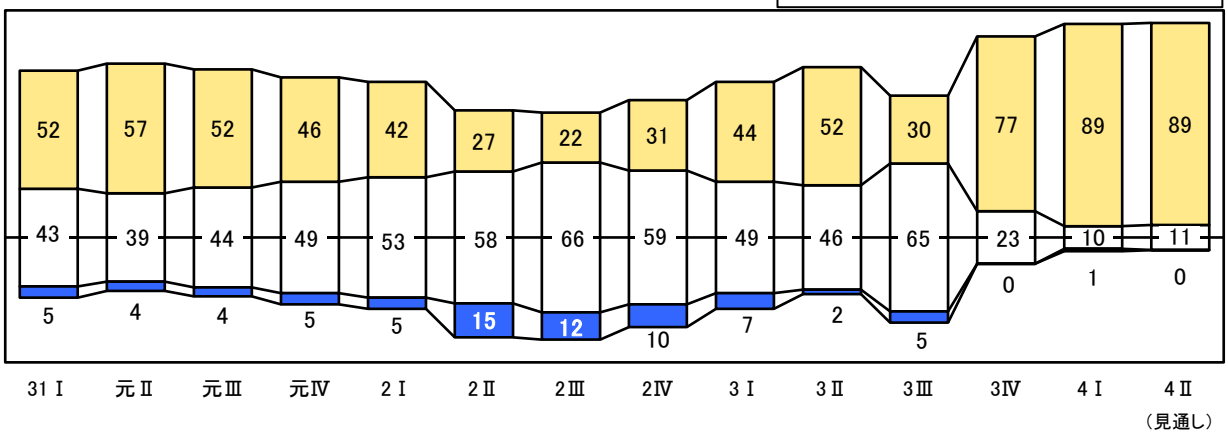
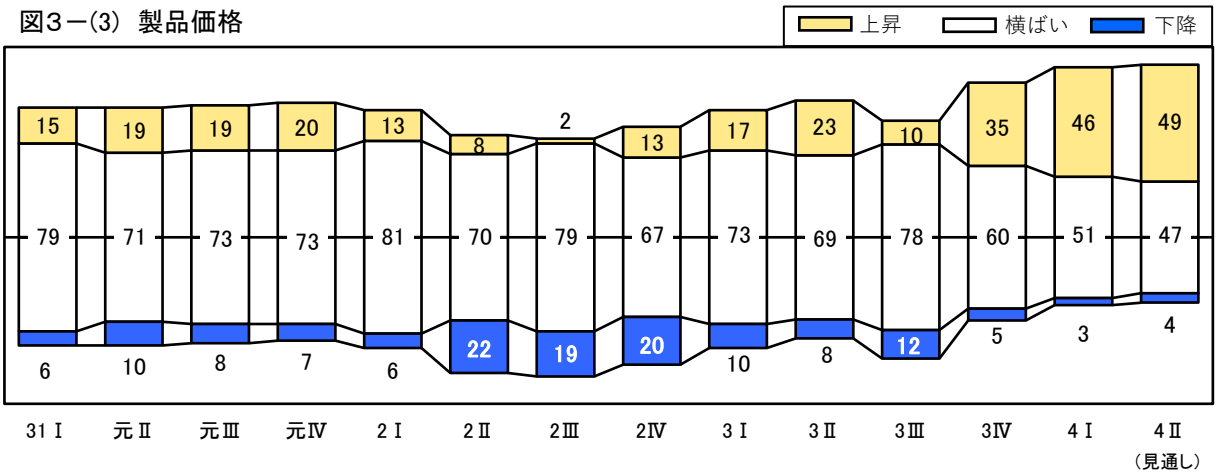


図3－(3) 製品価格



（２）卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「過大」、「適正」が拡大、「不足」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「下降」が拡大、「横ばい」が横ばい、「上昇」が縮小
・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「不足」が拡大、「適正」、「過大」が縮小
・仕入価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」、「下降」が縮小
・商品価格は、「上昇」が拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小

図３－(4) 商品在庫水準

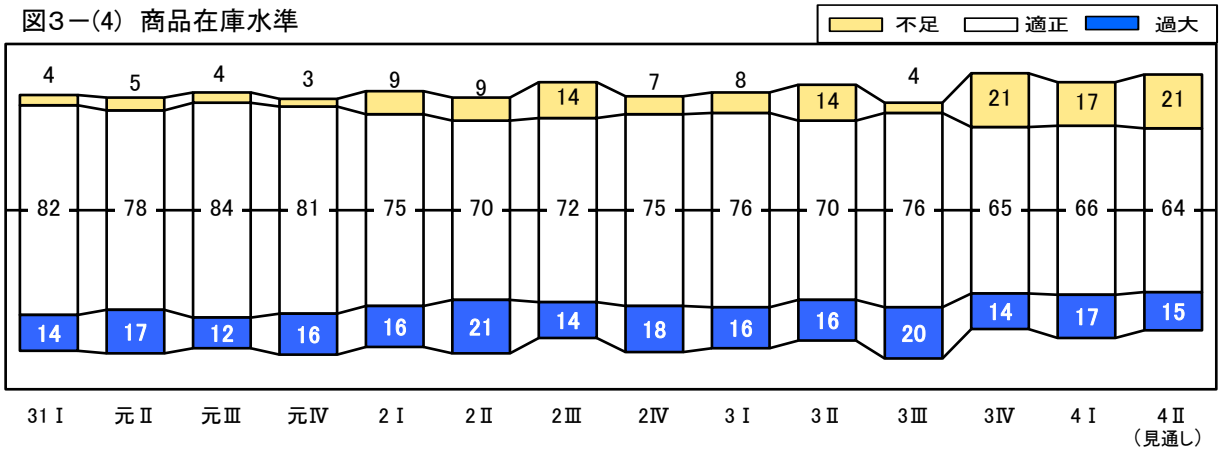


図３－(5) 仕入価格（商品）

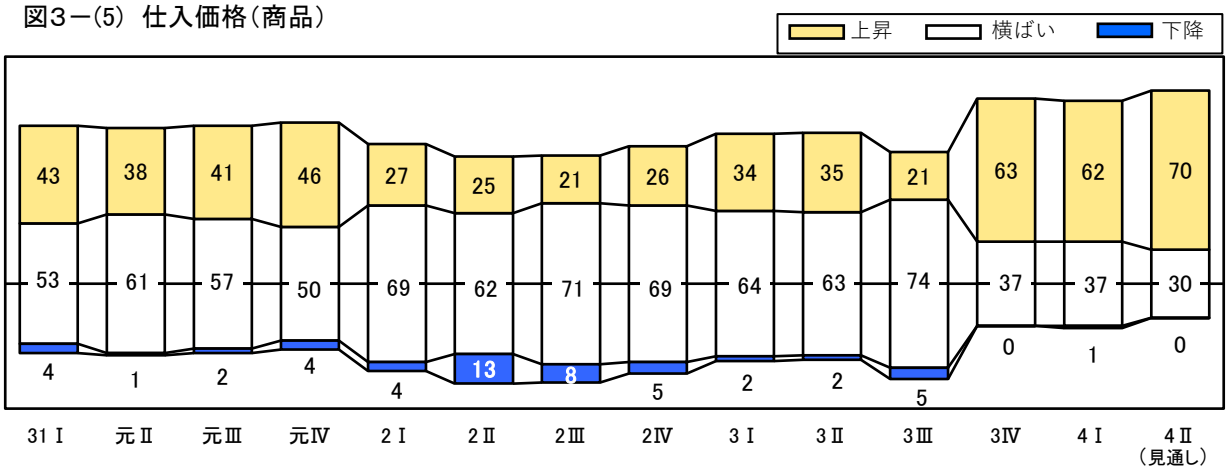
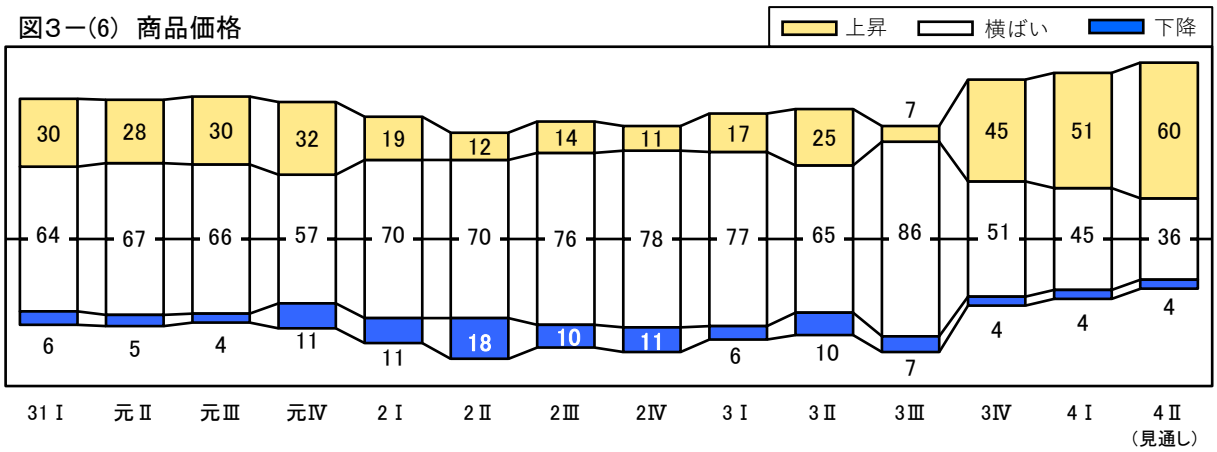


図３－(6) 商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

・「設備投資をした」と回答した企業は30%で、前期から下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が79%、「合理化・省力化」が23%、「生産・販売能力拡大」が21%（複数回答）

来期の見通し

・「設備投資をする」と回答した企業は31%で、今期から上昇

・設備投資の目的については、「設備更新」が74%、「合理化・省力化」が27%、「生産・販売能力拡大」が23%（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

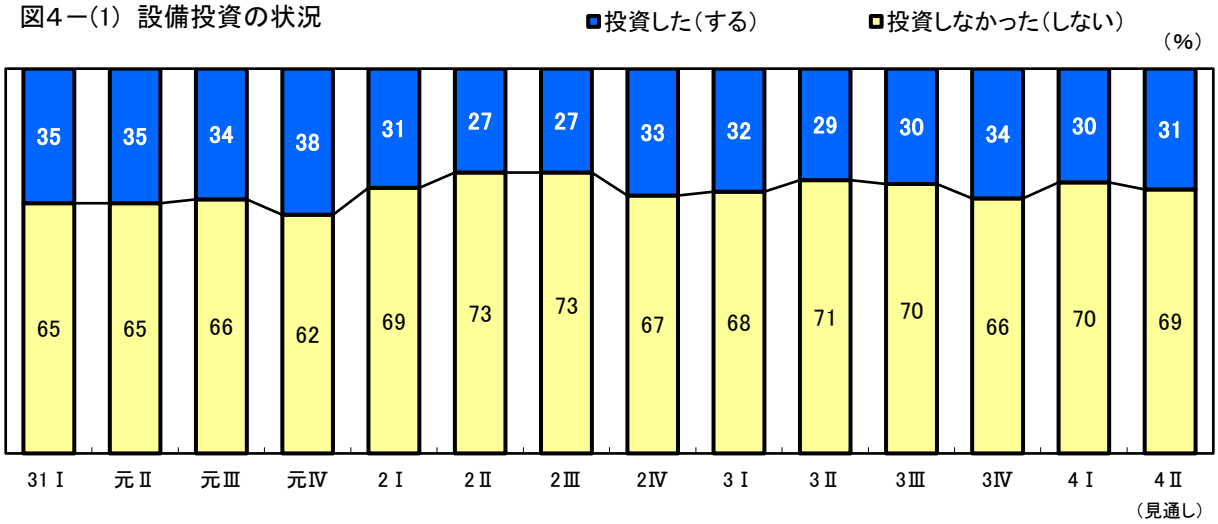


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

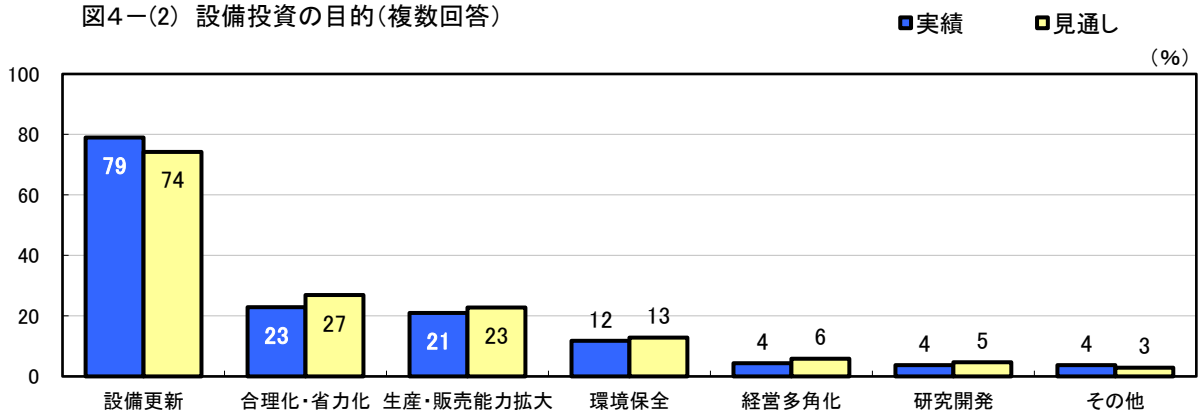


表４－(1) 設備投資の状況（R4年1-3月実績）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R3年10-12月 設備投資した	R4年1-3月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
				設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		33	30	79	23	21	12	4	4	4
	札幌市を除く	31	27	83	19	17	13	3	2	2
	札幌市	41	39	70	32	32	9	9	9	9
業種	建設業	34	28	80	24	20	0	0	0	4
	製造業	39	36	82	26	21	29	3	8	0
	卸売･小売業	34	23	83	22	26	9	0	4	4
	運輸業	40	34	86	11	14	4	4	0	4
	サービス業	26	28	71	27	23	10	10	4	6
資本金	5千万円未満	25	23	76	20	24	14	8	2	2
	5千万以上～1億円未満	39	30	78	28	19	6	0	3	3
	1億円以上	60	57	85	24	17	11	0	7	7
地域	道南	28	26	94	13	0	19	0	0	0
	道央	36	32	72	28	28	16	5	7	7
	札幌市を除く	31	24	75	21	21	29	0	4	4
	札幌市	41	39	70	32	32	9	9	9	9
	道北	33	32	73	23	19	0	4	0	4
	オホーツク	27	25	92	8	15	0	0	0	0
	十勝	27	26	87	33	27	27	7	0	0
	釧路・根室	43	29	88	12	12	0	6	6	0

表４－(2) 設備投資の状況（R4年4-6月見通し）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R4年4-6月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答）						
			設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		31	74	27	23	13	6	5	3
	札幌市を除く	29	76	24	18	15	6	2	3
	札幌市	37	68	36	36	7	7	11	2
業種	建設業	25	91	36	5	5	0	0	0
	製造業	40	76	38	24	21	2	7	5
	卸売･小売業	30	67	20	40	10	7	3	3
	運輸業	35	90	3	10	7	3	3	3
	サービス業	28	60	31	27	15	13	6	2
資本金	5千万円未満	26	66	24	28	15	11	3	1
	5千万以上～1億円未満	29	77	32	13	3	0	6	6
	1億円以上	57	89	28	20	15	0	7	4
地域	道南	25	87	20	20	13	0	0	7
	道央	31	74	30	30	15	4	8	3
	札幌市を除く	25	83	21	21	28	0	3	3
	札幌市	37	68	36	36	7	7	11	2
	道北	28	74	30	13	4	13	0	4
	オホーツク	29	67	7	20	0	7	0	0
	十勝	45	72	28	20	24	8	4	4
	釧路・根室	35	75	30	15	10	5	5	0

5　地域別にみる各産業の動向

（１）道南

今期の業況感ＢＳＩは △ 29（前期から２ポイント下降）

主な上昇業種･･･総合工事業（△25→△18）、木材・木製品製造業（0→100）、
機械器具小売業（△67→△33）、その他の小売業（0→100）、
道路貨物運送業（△33→0）

主な下降業種･･･飲食料品卸売業（△34→△100）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→△100）、
機械器具卸売業（0→△100）、水運業（0→△100）、
倉庫業（△33→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 29（今期から横ばい）

図５－(1) 地域別BSIの推移【道南】

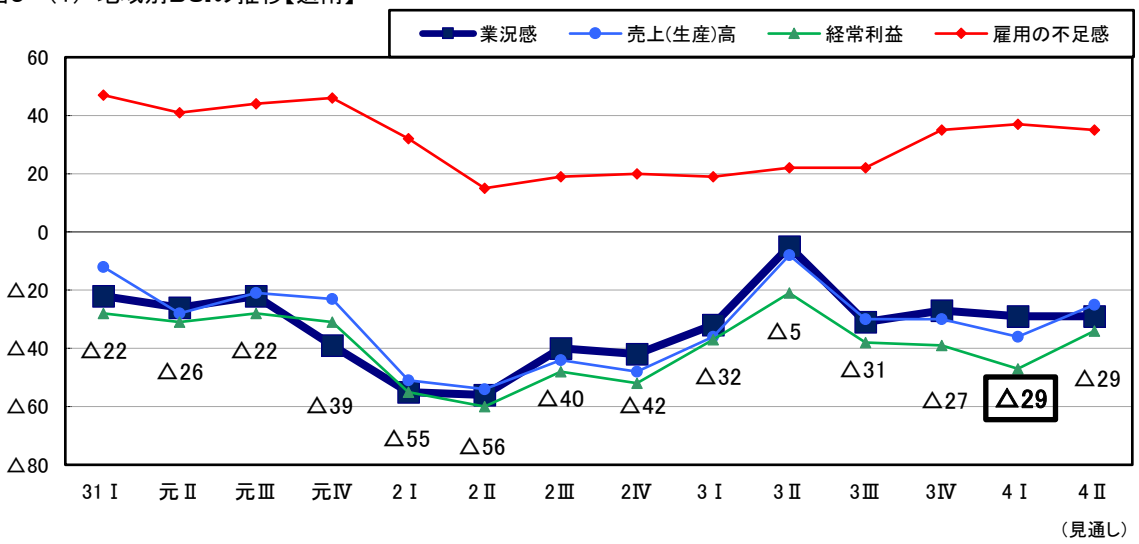


表５－(1) 地域別BSI【道南】

区　分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 27	8	55	37	△ 29	△ 2	3	65	32	△ 29	0
	建設業	△ 25	0	82	18	△ 18	7	0	55	45	△ 45	△ 27
	製造業	△ 9	20	47	33	△ 13	△ 4	7	72	21	△ 14	△ 1
	卸売･小売業	△ 33	10	40	50	△ 40	△ 7	0	60	40	△ 40	0
	運輸業	△ 27	0	62	38	△ 38	△ 11	0	87	13	△ 13	25
	サービス業	△ 33	6	50	44	△ 38	△ 5	6	59	35	△ 29	9
売上（生産）高	全産業	△ 30	8	48	44	△ 36	△ 6	6	63	31	△ 25	11
	建設業	△ 42	0	45	55	△ 55	△ 13	0	55	45	△ 45	10
	製造業	△ 8	20	40	40	△ 20	△ 12	13	67	20	△ 7	13
	卸売･小売業	△ 27	10	50	40	△ 30	△ 3	10	60	30	△ 20	10
	運輸業	△ 36	0	75	25	△ 25	11	0	100	0	0	25
	サービス業	△ 33	6	44	50	△ 44	△ 11	6	50	44	△ 38	6
経常利益	全産業	△ 39	5	43	52	△ 47	△ 8	5	56	39	△ 34	13
	建設業	△ 50	0	36	64	△ 64	△ 14	0	45	55	△ 55	9
	製造業	△ 16	7	40	53	△ 46	△ 30	0	60	40	△ 40	6
	卸売･小売業	△ 46	10	40	50	△ 40	6	20	40	40	△ 20	20
	運輸業	△ 45	0	57	43	△ 43	2	0	100	0	0	43
	サービス業	△ 38	6	44	50	△ 44	△ 6	6	50	44	△ 38	6
雇用者の不足感	全産業	35	42	53	5	37	2	40	55	5	35	△ 2
	建設業	58	73	27	0	73	15	73	18	9	64	△ 9
	製造業	58	40	60	0	40	△ 18	47	53	0	47	7
	卸売･小売業	7	30	50	20	10	3	30	60	10	20	10
	運輸業	45	25	75	0	25	△ 20	25	75	0	25	0
	サービス業	23	39	55	6	33	10	28	66	6	22	△ 11

※「売上（生産）高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。（以下、同じ。）

（２）道央

今期の業況感ＢＳＩは △ 30（前期から 20 ポイント下降）

主な上昇業種･･･飲料・たばこ・飼料製造業（△100→0）、
パルプ・紙・紙加工品製造業（△33→0）、
電気機械器具製造業（△100→△50）、通信業（△100→0）、
職業紹介・労働者派遣業（△33→0）、その他の事業サービス業（△33→0）

主な下降業種･･･印刷・同関連業（50→△50）、鉄鋼業（0→△100）、
繊維・衣服等卸売業（0→△100）、各種商品小売業（100→0）、
道路旅客運送業（50→△50）、航空運輸業（0→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 12（今期から 18 ポイント上昇）

図5－(2) 地域別BSIの推移【道央】

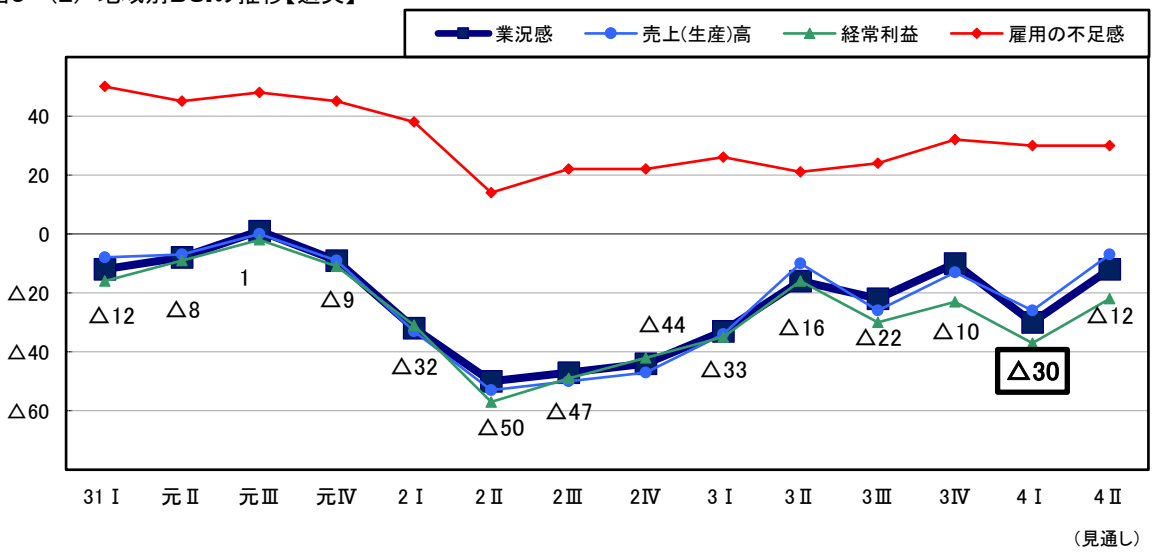


表5－(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 10	8	54	38	△ 30	△ 20	10	68	22	△ 12	18
	建設業	△ 23	3	74	23	△ 20	3	0	90	10	△ 10	10
	製造業	△ 9	13	38	49	△ 36	△ 27	5	62	33	△ 28	8
	卸売･小売業	△ 6	2	49	49	△ 47	△ 41	11	67	22	△ 11	36
	運輸業	△ 4	12	46	42	△ 30	△ 26	9	64	27	△ 18	12
	サービス業	△ 11	9	61	30	△ 21	△ 10	16	64	20	△ 4	17
売上（生産）高	全産業	△ 13	13	48	39	△ 26	△ 13	16	61	23	△ 7	19
	建設業	△ 23	10	55	35	△ 25	△ 2	6	78	16	△ 10	15
	製造業	△ 9	18	41	41	△ 23	△ 14	21	51	28	△ 7	16
	卸売･小売業	△ 10	11	40	49	△ 38	△ 28	18	60	22	△ 4	34
	運輸業	△ 7	15	49	36	△ 21	△ 14	12	67	21	△ 9	12
	サービス業	△ 15	12	52	36	△ 24	△ 9	17	59	24	△ 7	17
経常利益	全産業	△ 23	10	43	47	△ 37	△ 14	12	54	34	△ 22	15
	建設業	△ 29	10	51	39	△ 29	0	3	74	23	△ 20	9
	製造業	△ 22	8	38	54	△ 46	△ 24	15	52	33	△ 18	28
	卸売･小売業	△ 12	9	35	56	△ 47	△ 35	13	45	42	△ 29	18
	運輸業	△ 50	9	33	58	△ 49	1	9	49	42	△ 33	16
	サービス業	△ 19	12	50	38	△ 26	△ 7	15	53	32	△ 17	9
雇用者の不足感	全産業	32	38	54	8	30	△ 2	36	58	6	30	0
	建設業	59	55	42	3	52	△ 7	55	42	3	52	0
	製造業	24	28	62	10	18	△ 6	23	72	5	18	0
	卸売･小売業	30	43	52	5	38	8	39	56	5	34	△ 4
	運輸業	25	39	52	9	30	5	36	58	6	30	0
	サービス業	30	34	56	10	24	△ 6	34	59	7	27	3

（２）－ ①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ 36（前期から 16 ポイント下降）

主な上昇業種･･･設備工事業（0→△50）、飲料・たばこ・飼料製造業（△100→0）、
パルプ・紙・紙加工品製造業（△100→0）、生産用機械器具製造業（△50→0）、
機械器具卸売業（△100→0）、職業紹介・労働者派遣業（△50→0）

主な下降業種･･･鉄鋼業（0→△100）、飲食料品卸売業（33→△67）、
各種商品小売業（100→0）、飲食料品小売業（100→0）、
機械器具小売業（0→△100）、機械等修理業機械器具小売業（0→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △18（今期から 18 ポイント上昇）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

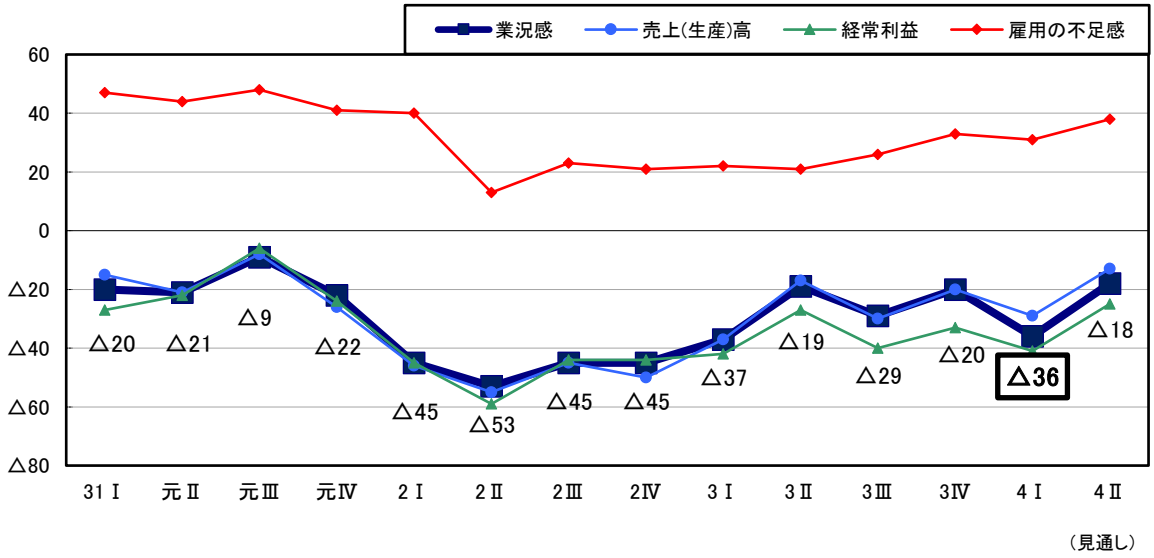


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区　分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 20	8	48	44	△ 36	△ 16	8	66	26	△ 18	18
	建設業	△ 35	7	60	33	△ 26	9	0	87	13	△ 13	13
	製造業	△ 21	13	30	57	△ 44	△ 23	4	61	35	△ 31	13
	卸売･小売業	8	5	37	58	△ 53	△ 61	11	57	32	△ 21	32
	運輸業	△ 20	10	50	40	△ 30	△ 10	5	70	25	△ 20	10
	サービス業	△ 29	5	57	38	△ 33	△ 4	13	64	23	△ 10	23
売上（生産）高	全産業	△ 20	12	47	41	△ 29	△ 9	13	61	26	△ 13	16
	建設業	△ 35	19	43	38	△ 19	16	6	75	19	△ 13	6
	製造業	△ 11	17	40	43	△ 26	△ 15	22	48	30	△ 8	18
	卸売･小売業	9	16	31	53	△ 37	△ 46	16	52	32	△ 16	21
	運輸業	△ 20	10	55	35	△ 25	△ 5	5	75	20	△ 15	10
	サービス業	△ 37	5	57	38	△ 33	4	13	61	26	△ 13	20
経常利益	全産業	△ 33	9	41	50	△ 41	△ 8	10	55	35	△ 25	16
	建設業	△ 29	19	50	31	△ 12	17	6	75	19	△ 13	△ 1
	製造業	△ 36	9	30	61	△ 52	△ 16	17	44	39	△ 22	30
	卸売･小売業	4	21	32	47	△ 26	△ 30	11	52	37	△ 26	0
	運輸業	△ 60	5	45	50	△ 45	15	5	55	40	△ 35	10
	サービス業	△ 44	3	46	51	△ 48	△ 4	11	52	37	△ 26	22
雇用者の不足感	全産業	33	39	53	8	31	△ 2	42	54	4	38	7
	建設業	53	56	38	6	50	△ 3	69	25	6	63	13
	製造業	29	30	57	13	17	△ 12	17	79	4	13	△ 4
	卸売･小売業	21	39	55	6	33	12	33	67	0	33	0
	運輸業	33	35	60	5	30	△ 3	35	65	0	35	5
	サービス業	31	41	51	8	33	2	53	39	8	45	12

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは　△23（前期から 23 ポイント下降）

主な上昇業種･･･電気機械器具製造業（△100→△50）、通信業（△100→0）、
技術サービス業（△33→△14）、機械等修理業（0→50）、
その他の事業サービス業（△33→0）

主な下降業種･･･印刷・同関連業（50→△50）、繊維・衣服等卸売業（0→△100）、
道路旅客運送業（100→△33）、航空運輸業（0→△100）、
飲食店（67→△67）、持ち帰り・配達飲食サービス業（100→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 6（今期から 17 ポイント上昇）

図5－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

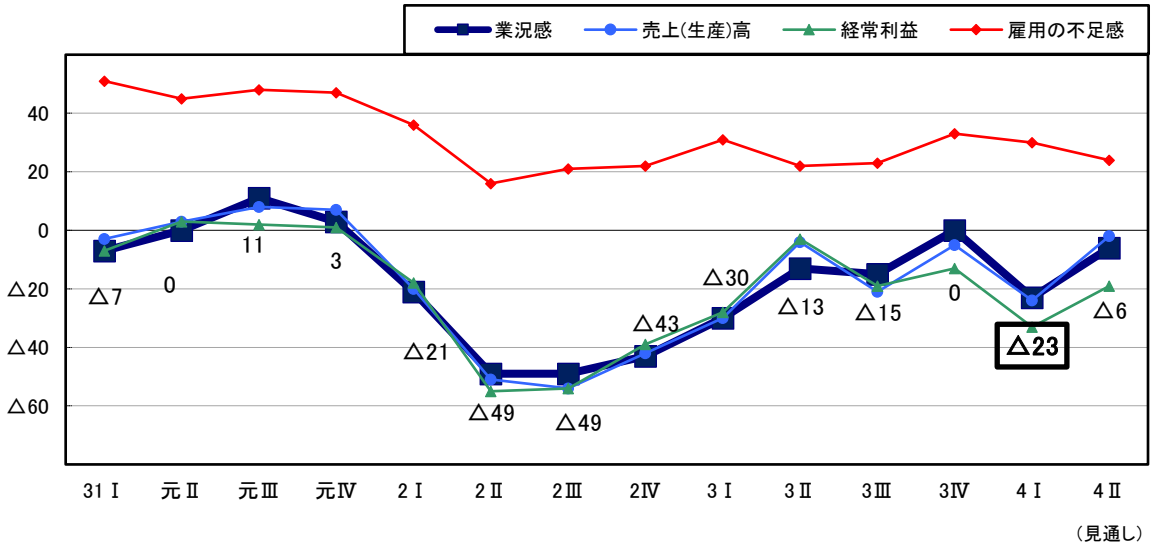


表5－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区　分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	0	8	61	31	△ 23	△ 23	13	68	19	△ 6	17
	建設業	△ 12	0	87	13	△ 13	△ 1	0	93	7	△ 7	6
	製造業	11	13	49	38	△ 25	△ 36	6	63	31	△ 25	0
	卸売･小売業	△ 17	0	58	42	△ 42	△ 25	12	73	15	△ 3	39
	運輸業	15	15	39	46	△ 31	△ 46	15	54	31	△ 16	15
	サービス業	6	12	64	24	△ 12	△ 18	18	64	18	0	12
売上（生産）高	全産業	△ 5	14	48	38	△ 24	△ 19	18	62	20	△ 2	22
	建設業	△ 11	0	67	33	△ 33	△ 22	7	80	13	△ 6	27
	製造業	△ 6	19	43	38	△ 19	△ 13	19	56	25	△ 6	13
	卸売･小売業	△ 24	8	46	46	△ 38	△ 14	19	66	15	4	42
	運輸業	7	23	39	38	△ 15	△ 22	23	54	23	0	15
	サービス業	5	18	48	34	△ 16	△ 21	20	58	22	△ 2	14
経常利益	全産業	△ 13	11	45	44	△ 33	△ 20	14	53	33	△ 19	14
	建設業	△ 29	0	53	47	△ 47	△ 18	0	73	27	△ 27	20
	製造業	0	6	50	44	△ 38	△ 38	13	62	25	△ 12	26
	卸売･小売業	△ 24	0	38	62	△ 62	△ 38	15	39	46	△ 31	31
	運輸業	△ 39	15	16	69	△ 54	△ 15	15	39	46	△ 31	23
	サービス業	3	20	52	28	△ 8	△ 11	18	54	28	△ 10	△ 2
雇用者の不足感	全産業	33	38	54	8	30	△ 3	31	62	7	24	△ 6
	建設業	65	53	47	0	53	△ 12	40	60	0	40	△ 13
	製造業	17	25	69	6	19	2	31	63	6	25	6
	卸売･小売業	38	46	50	4	42	4	42	50	8	34	△ 8
	運輸業	15	46	39	15	31	16	38	47	15	23	△ 8
	サービス業	28	30	58	12	18	△ 10	20	74	6	14	△ 4

（３）道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 16（前期から７ポイント上昇）

主な上昇業種･･･その他の卸売業（0→100）、機械器具小売業（△100→0）、
通信業（0→100）、洗濯・理容・美容・浴場業（△50→0）、
その他の事業サービス業（△50→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（0→△40）、窯業・土石製品製造業（34→0）、
その他の製造業（0→△100）、繊維・衣服等卸売業（△50→△100）、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（67→33）、娯楽業（△50→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 24（今期から８ポイント下降）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

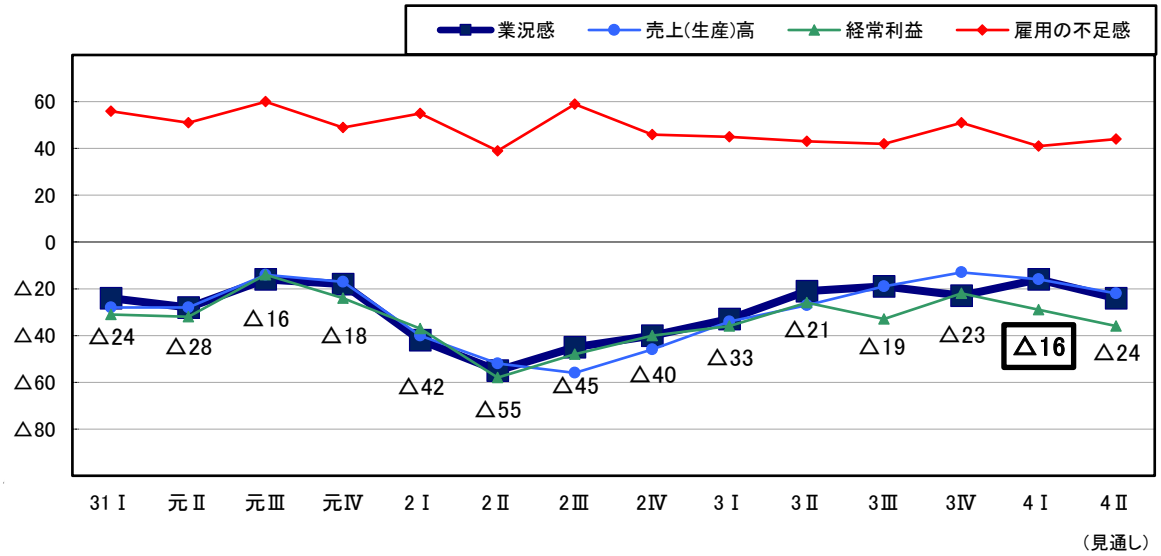


表５－(3) 地域別BSI(道北)

区 分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 23	17	50	33	△ 16	7	9	58	33	△ 24	△ 8
	建設業	△ 13	19	62	19	0	13	13	62	25	△ 12	△ 12
	製造業	12	18	47	35	△ 17	△ 29	6	53	41	△ 35	△ 18
	卸売･小売業	△ 13	31	31	38	△ 7	6	13	56	31	△ 18	△ 11
	運輸業	△ 43	9	36	55	△ 46	△ 3	0	60	40	△ 40	6
	サービス業	△ 41	8	63	29	△ 21	20	9	61	30	△ 21	0
売上（生産）高	全産業	△ 13	19	46	35	△ 16	△ 3	9	60	31	△ 22	△ 6
	建設業	0	25	56	19	6	6	6	69	25	△ 19	△ 25
	製造業	13	24	29	47	△ 23	△ 36	12	53	35	△ 23	0
	卸売･小売業	△ 7	25	31	44	△ 19	△ 12	13	68	19	△ 6	13
	運輸業	△ 29	9	55	36	△ 27	2	0	64	36	△ 36	△ 9
	サービス業	△ 28	12	56	32	△ 20	8	12	52	36	△ 24	△ 4
経常利益	全産業	△ 22	16	39	45	△ 29	△ 7	6	52	42	△ 36	△ 7
	建設業	0	50	25	25	25	25	6	56	38	△ 32	△ 57
	製造業	6	6	53	41	△ 35	△ 41	0	71	29	△ 29	6
	卸売･小売業	△ 20	19	43	38	△ 19	1	6	56	38	△ 32	△ 13
	運輸業	△ 29	0	45	55	△ 55	△ 26	0	45	55	△ 55	0
	サービス業	△ 50	8	32	60	△ 52	△ 2	12	36	52	△ 40	12
雇用者の不足感	全産業	51	45	51	4	41	△ 10	46	52	2	44	3
	建設業	69	63	31	6	57	△ 12	81	19	0	81	24
	製造業	75	63	31	6	57	△ 18	47	47	6	41	△ 16
	卸売･小売業	27	19	81	0	19	△ 8	19	81	0	19	0
	運輸業	64	73	27	0	73	9	64	36	0	64	△ 9
	サービス業	33	25	71	4	21	△ 12	33	63	4	29	8

（４）オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △ 13（前期から３ポイント上昇）

主な上昇業種･･･輸送用機械器具製造業（△100→100）、その他の小売業（△100→0）、物品賃貸業（△100→0）、宿泊業（△20→100）、飲食店（△50→50）

主な下降業種･･･食料品製造業（67→△33）、金属製品製造業（100→0）、生産用機械器具製造業（0→△100）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（△67→△100）、機械器具卸売業（100→0）、技術サービス業（0→△50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 26（今期から 13 ポイント下降）

図５－(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

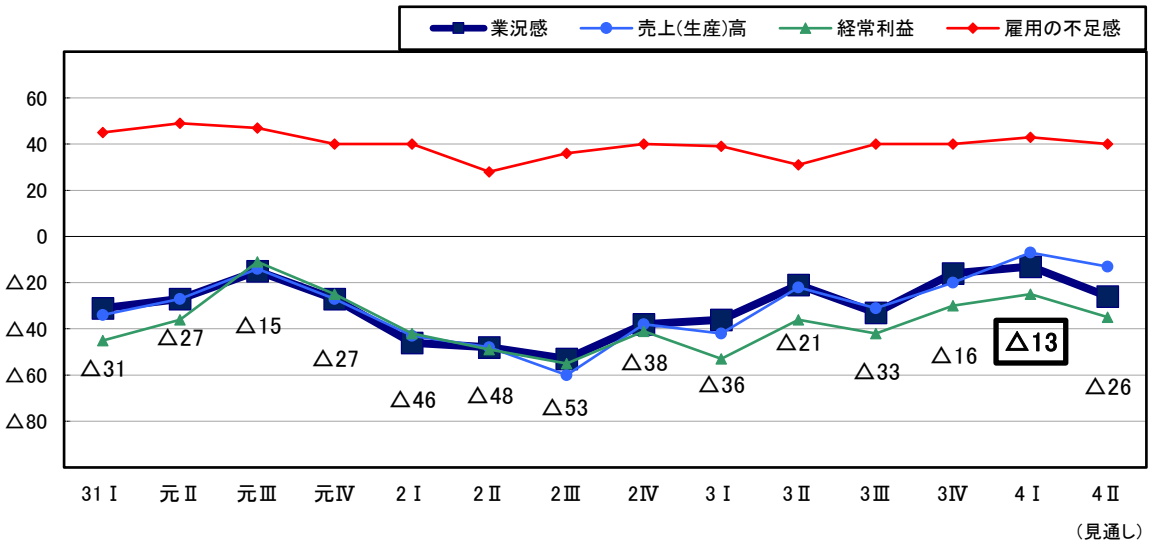


表５－(4) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 16	17	53	30	△ 13	3	6	62	32	△ 26	△ 13
	建設業	△ 9	0	78	22	△ 22	△ 13	0	56	44	△ 44	△ 22
	製造業	8	18	46	36	△ 18	△ 26	18	73	9	9	27
	卸売･小売業	△ 46	9	46	45	△ 36	10	0	64	36	△ 36	0
	運輸業	△ 22	17	50	33	△ 16	6	0	50	50	△ 50	△ 34
	サービス業	△ 18	40	50	10	30	48	10	70	20	△ 10	△ 40
売上（生産）高	全産業	△ 20	21	51	28	△ 7	13	12	63	25	△ 13	△ 6
	建設業	△ 34	0	56	44	△ 44	△ 10	0	37	63	△ 63	△ 19
	製造業	0	18	46	36	△ 18	△ 18	18	73	9	9	27
	卸売･小売業	△ 9	27	55	18	9	18	18	64	18	0	△ 9
	運輸業	△ 45	17	58	25	△ 8	37	8	67	25	△ 17	△ 9
	サービス業	△ 18	40	40	20	20	38	10	70	20	△ 10	△ 30
経常利益	全産業	△ 30	11	53	36	△ 25	5	4	57	39	△ 35	△ 10
	建設業	△ 50	11	33	56	△ 45	5	0	12	88	△ 88	△ 43
	製造業	0	18	46	36	△ 18	△ 18	20	60	20	0	18
	卸売･小売業	△ 27	0	64	36	△ 36	△ 9	0	73	27	△ 27	9
	運輸業	△ 45	8	59	33	△ 25	20	0	50	50	△ 50	△ 25
	サービス業	△ 32	20	60	20	0	32	0	80	20	△ 20	△ 20
雇用者の不足感	全産業	40	47	49	4	43	3	42	56	2	40	△ 3
	建設業	83	67	33	0	67	△ 16	56	44	0	56	△ 11
	製造業	33	55	45	0	55	22	55	45	0	55	0
	卸売･小売業	0	27	73	0	27	27	9	91	0	9	△ 18
	運輸業	67	67	33	0	67	0	58	42	0	58	△ 9
	サービス業	25	20	60	20	0	△ 25	30	60	10	20	20

（５）十勝

今期の業況感ＢＳＩは △ 17（前期から８ポイント下降）

主な上昇業種･･･食料品製造業（0→20）、パルプ・紙・紙加工品製造業（0→100）、
放送業（△100→0）、物品賃貸業（△100→0）、
物品賃貸業（△100→0）、職業紹介・労働者派遣業（△100→0）

主な下降業種･･･木材・木製品製造業（100→0）、金属製品製造業（0→△50）、
生産用機械器具製造業（0→△33）、飲食料品卸売業（0→△33）、
各種商品小売業（100→△100）、道路旅客運送業（△34→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 22（今期から５ポイント下降）

図５－(5) 地域別BSIの推移【十勝】

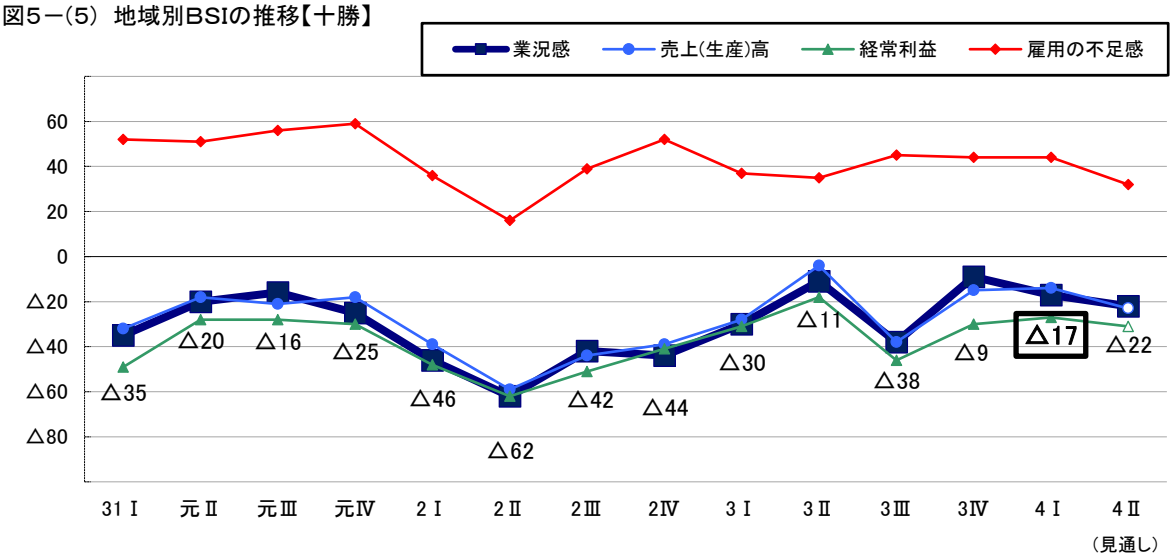


表５－(5) 地域別BSI(十勝)

区 分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 9	9	65	26	△ 17	△ 8	7	64	29	△ 22	△ 5
	建設業	11	9	82	9	0	△ 11	0	91	9	△ 9	△ 9
	製造業	9	23	46	31	△ 8	△ 17	8	42	50	△ 42	△ 34
	卸売･小売業	△ 8	0	60	40	△ 40	△ 32	0	70	30	△ 30	10
	運輸業	△ 17	0	75	25	△ 25	△ 8	0	57	43	△ 43	△ 18
	サービス業	△ 26	7	66	27	△ 20	6	20	60	20	0	20
売上(生産)高	全産業	△ 15	21	44	35	△ 14	1	9	59	32	△ 23	△ 9
	建設業	11	27	64	9	18	7	0	73	27	△ 27	△ 45
	製造業	0	31	31	38	△ 7	△ 7	17	41	42	△ 25	△ 18
	卸売･小売業	△ 25	20	40	40	△ 20	5	0	80	20	△ 20	0
	運輸業	△ 25	13	37	50	△ 37	△ 12	0	50	50	△ 50	△ 13
	サービス業	△ 26	13	47	40	△ 27	△ 1	20	53	27	△ 7	20
経常利益	全産業	△ 30	19	35	46	△ 27	3	7	55	38	△ 31	△ 4
	建設業	△ 44	18	46	36	△ 18	26	0	82	18	△ 18	0
	製造業	△ 9	23	46	31	△ 8	1	17	33	50	△ 33	△ 25
	卸売･小売業	△ 17	30	30	40	△ 10	7	0	56	44	△ 44	△ 34
	運輸業	△ 50	13	24	63	△ 50	0	0	37	63	△ 63	△ 13
	サービス業	△ 33	13	27	60	△ 47	△ 14	13	60	27	△ 14	33
雇用者の不足感	全産業	44	49	46	5	44	0	36	60	4	32	△ 12
	建設業	56	64	27	9	55	△ 1	55	45	0	55	0
	製造業	27	23	77	0	23	△ 4	8	84	8	0	△ 23
	卸売･小売業	41	60	30	10	50	9	50	40	10	40	△ 10
	運輸業	83	75	25	0	75	△ 8	38	62	0	38	△ 37
	サービス業	20	40	53	7	33	13	33	67	0	33	0

（６）釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △ 31（前期から 16 ポイント下降）

主な上昇業種･･･設備工事業（△100→0）、飲料・たばこ・飼料製造業（△50→0）、
パルプ・紙・紙加工品製造業（△100→0）、水運業（0→100）、
技術サービス業（0→25）、宿泊業（67→100）

主な下降業種･･･輸送用機械器具製造業（0→△100）、機械器具卸売業（0→△100）、
飲食店（0→△100）、自動車整備業（0→△100）、
職業紹介・労働者派遣業（100→△100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 29（今期から 2 ポイント上昇）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路･根室】

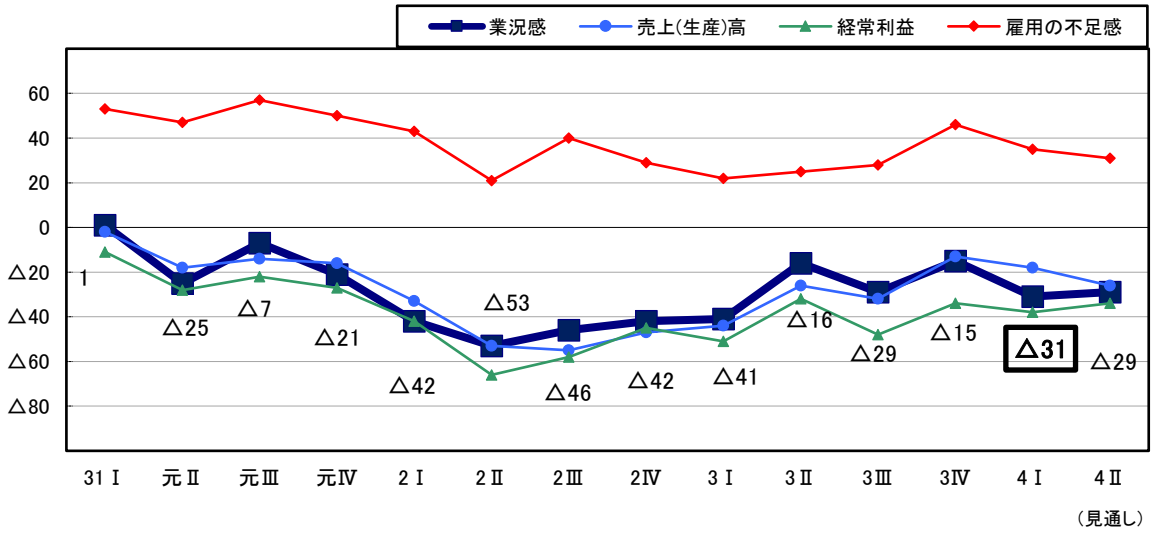


表５－(6) 地域別BSI(釧路･根室)

区 分		R3年10-12月実績BSI	R4年1-3月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R4年4-6月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 15	9	51	40	△ 31	△ 16	5	61	34	△ 29	2
	建設業	△ 27	0	90	10	△ 10	17	0	100	0	0	10
	製造業	△ 27	17	41	42	△ 25	2	8	59	33	△ 25	0
	卸売･小売業	△ 14	0	62	38	△ 38	△ 24	0	50	50	△ 50	△ 12
	運輸業	△ 18	8	50	42	△ 34	△ 16	0	67	33	△ 33	1
	サービス業	7	13	31	56	△ 43	△ 50	13	37	50	△ 37	6
売上(生産)高	全産業	△ 13	16	50	34	△ 18	△ 5	12	50	38	△ 26	△ 8
	建設業	△ 36	20	50	30	△ 10	26	0	80	20	△ 20	△ 10
	製造業	△ 27	25	58	17	8	35	33	50	17	16	8
	卸売･小売業	△ 14	0	62	38	△ 38	△ 24	0	50	50	△ 50	△ 12
	運輸業	△ 9	17	41	42	△ 25	△ 16	8	59	33	△ 25	0
	サービス業	15	13	43	44	△ 31	△ 46	13	24	63	△ 50	△ 19
経常利益	全産業	△ 34	9	44	47	△ 38	△ 4	9	48	43	△ 34	4
	建設業	△ 55	0	80	20	△ 20	35	0	80	20	△ 20	0
	製造業	△ 73	17	33	50	△ 33	40	17	50	33	△ 16	17
	卸売･小売業	△ 29	0	50	50	△ 50	△ 21	0	50	50	△ 50	0
	運輸業	△ 27	8	25	67	△ 59	△ 32	8	50	42	△ 34	25
	サービス業	7	13	43	44	△ 31	△ 38	13	24	63	△ 50	△ 19
雇用者の不足感	全産業	46	39	57	4	35	△ 11	35	61	4	31	△ 4
	建設業	45	60	40	0	60	15	60	40	0	60	0
	製造業	64	50	42	8	42	△ 22	33	59	8	25	△ 17
	卸売･小売業	43	13	87	0	13	△ 30	13	87	0	13	0
	運輸業	27	33	59	8	25	△ 2	42	50	8	34	9
	サービス業	50	33	67	0	33	△ 17	27	73	0	27	△ 6

6　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △44　（前期から 31 ポイント下降）

・業種別、地域別ともに、全ての業種、地域でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感ＢＳＩは △ 23（今期から 21 ポイント上昇）

図6　道内の景況感

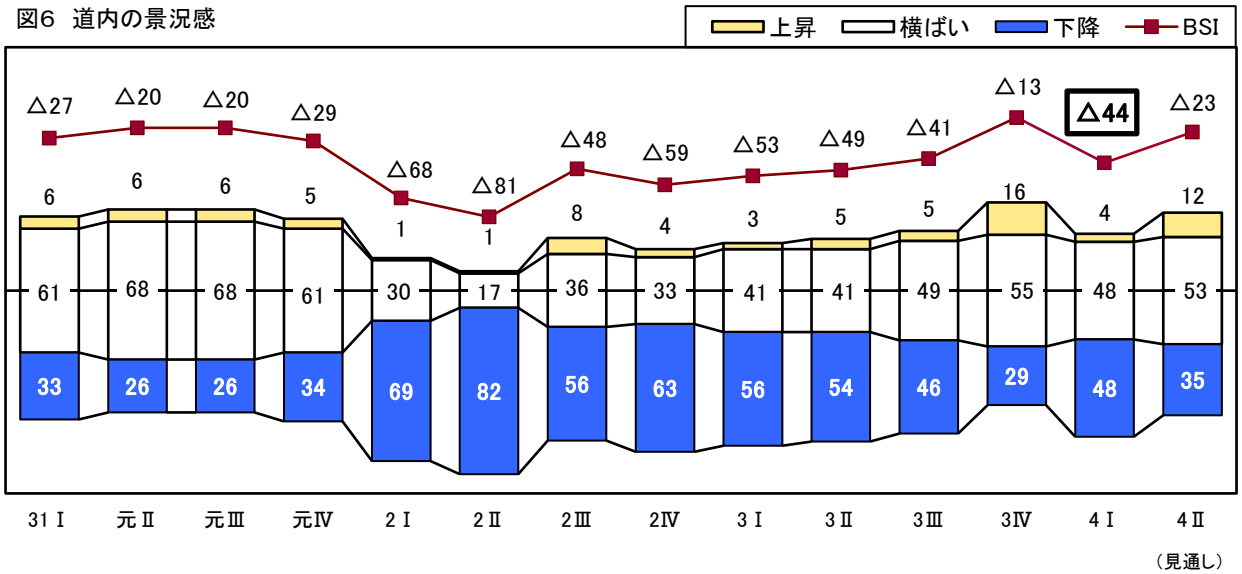


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R3年10-12月実績	R4年1-3月実績					R4年4-6月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 13	4	48	48	△ 44	△ 31	12	53	35	△ 23	21
	札幌市を除く	△ 17	4	44	52	△ 48	△ 31	12	49	39	△ 27	21
	札幌市	1	3	60	37	△ 34	△ 35	13	64	23	△ 10	24
業種	建設業	△ 13	0	58	42	△ 42	△ 29	10	58	32	△ 22	20
	製造業	△ 6	5	45	50	△ 45	△ 39	9	55	36	△ 27	18
	卸売･小売業	△ 15	6	38	56	△ 50	△ 35	11	50	39	△ 28	22
	運輸業	△ 12	6	43	51	△ 45	△ 33	8	58	34	△ 26	19
	サービス業	△ 16	3	52	45	△ 42	△ 26	17	47	36	△ 19	23
資本金	5千万円未満	△ 21	4	44	52	△ 48	△ 27	10	48	42	△ 32	16
	5千万以上～1億円未満	△ 5	2	49	49	△ 47	△ 42	17	53	30	△ 13	34
	1億円以上	6	5	62	33	△ 28	△ 34	14	71	15	△ 1	27
地域	道南	△ 15	3	44	53	△ 50	△ 35	13	54	33	△ 20	30
	道央	△ 9	4	52	44	△ 40	△ 31	11	59	30	△ 19	21
	札幌市を除く	△ 17	4	45	51	△ 47	△ 30	10	53	37	△ 27	20
	札幌市	1	3	60	37	△ 34	△ 35	13	64	23	△ 10	24
	道北	△ 30	1	51	48	△ 47	△ 17	16	44	40	△ 24	23
	オホーツク	△ 11	9	34	57	△ 48	△ 37	4	45	51	△ 47	1
	十勝	△ 5	4	45	51	△ 47	△ 42	18	43	39	△ 21	26
	釧路･根室	△ 15	3	45	52	△ 49	△ 34	10	54	36	△ 26	23

7　業種･圏域別企業経営者の声（令和4年1－3月）

【建設業】

道南	・原油価格高騰が続くと思いますが、政府には大胆な対策をとってもらいたい。（土木工事業） ・大型公共事業等の需要喚起を望む。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・公共工事の減少は、経済が停滞するので、引き続き公共工事の予算確保を期待します。（一般土木建築工事業）
道央	・新型コロナウイルスで先が見えず、手立てを探る日々です。また、ウクライナへの攻撃がいつまで続くのか、恐ろしい限りです。このダメージが経済に響き、我々の生活や経営にも影を落とすと思います。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・今後も、防災・減災、国土強靭化対策に向けて、持続的な公共事業予算の確保を期待いたしております。（総合建設業） ・働き方改革の推進のため、先進的に取り組む企業などへのインセンティブがあれば、動機づけになると思います。（舗装工事業）
道北	・建設業のため、公共事業が主な仕事になっています。急激な原材料の価格高騰で設計価格とのバランスが取れません。発注時点と施工時期で価格が変動しているため、設計価格等の見直しを月単位で行ってほしい。（一般土木建築工事業） ・コロナだけではなく、国際情勢が不安定な中で、業績を安定させるには大変である。建設業は求人をかけても人が来ない。近年海外では日本が現地法人に相手されない状況もあり、日本の弱体化がみられるようになってきたと実感しています。（電気通信・信号装置工事業、卸売業） ・世界情勢を含め先の見通しが見えないが、現状では従来通りの安定した経営を目指していきたい。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・新型コロナウイルスによる休業等により、影響が大きい業界ではすでにあきらめムードが漂っています。建設業は、業績が良いので賃上げも可能ですが、サービス業等は事業の継続すら危ぶまれる状況下ですので、賃上げを求めるのは、中小企業の現実がわかっていないのではないでしょうか。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・技術者の不足感はいまだ解消されておらず、特に土木建設業界への新卒者採用については厳しい環境にある。土木業界でのイメージアップ戦略、給与、福利厚生、休暇、勤務地等の待遇面の改善を行う等、若年層に向けた企業サイドの努力が必要であるため、行政からの後押しをお願いしたい。地方自治体の技術者不足も深刻と思えるが、民間からの引き抜きが公然と行われている現状があり、自治体内で技術職員の育成を行うべきではないかと考えます。（土木工事業）
オホーツク	・国内需要喚起、公共事業の予算増額を期待します。（一般土木建築工事業）
釧路・根室	・人材不足による売上高の横ばい傾向が続いています。賃上げを求められても企業努力だけでは限界があります。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・働き方改革による労働時間の削減や休日の増加を、社員を増員することでカバーしたいが、建設業界は労働者不足で、募集しても応募がなく困っている。（建築工事業（木造建築工事業を除く））

【製造業】

道南	・石油製品価格の上昇が課題です。（一般製材業） ・原油高対策として国から元売業者へ支給された給付金が、どこでどのように活用されているのか不透明で我々末端には全くその恩恵がありません。期間限定でも良いので、二重課税を撤廃していただきたいです。（清涼飲料製造業） ・原材料費高騰などへの不安があります。（水産食料品製造業）
道央	・資金繰り支援、鋼材・燃料費対策、人手不足対策を早急に実施願いたい。（農業用機械製造業（農業用器具を除く）） ・景気対策を望む。（プラスチック・管・継手・容器（ポリエチレン）、シューズパット） ・納品種類は変わらないが納品数量（ロット）の減少が目立つようになってきている。（印刷業） ・オリンピック札幌誘致については、東京オリンピックの結果をみれば、今までのような恩恵をうけられる状況とは明らかに異なるので、メリットはないと考えている。それよりも、現在起きている原油・原材料価格高騰による光熱費等の急激な負担対策を期待します。（印刷業）〃 ・現状では従業員数の不足感はさほどないものの、縫製業全般の傾向として、他産業と比較して報酬が低いためか、若年層の入社が少なく将来的な人員確保に不安がある。（外衣・シャツ製造業（和式を除く）） ・生産性向上のための経営基盤強化が課題です。行政には、公共事業の拡大を期待します。（家具・装備品製造業） ・エネルギー価格、鉄鋼原燃料の高騰の影響で、弊社のような鉄鋼２次加工メーカーでは製造に関わるコストが大幅増となっている。現在ニュース等で報じられている国の原油関連へのサポート施策をぜひ実施いただくとともに、消費者にも見えるような効果を発揮して頂きたい。（製鋼を行わない鋼材製造業（表面処理鋼材を除く））
道北	・農業人口の増加策を期待します。秋に収穫される芋が原料のため、不作の場合、直に打撃を受けることが課題です。（その他の食料品製造業）
十勝	・牛乳があまっているため、酪農家様のやる気が下がっている。子牛が売れないと当社の製品は売れない。（強化プラスチック製容器・水槽・カーフハッチ等製造業） ・本当に困っている人や事業者を救済するための施策に期待しております。（その他の食料品製造業） ・鋼板・木材の原料高の影響で仕入単価が高騰し、販売単価も上昇している。その影響で業界全体として建築戸数の減少が心配され、先行きが不安な状況である。（建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金業を含む））
釧路・根室	・原料の魚が少なくなってきている。（水産食料品製造業） ・働き方改革が大事であることは承知しておりますが、弊社のような下請けの場合、残業や休日作業がないと手当を支給しにくい面があるので、一律に労働時間を削減することは、企業の売上や社員の収入にも影響することも考慮していただきたいです。（船舶製造・修理業，舶用機関製造業） ・新型コロナウイルスの濃厚接触者が社内で発生すると、連鎖的に自宅待機者が増え、人員不足になる。特に機械のオペレーターが長期間の待機になると納期に影響があり、酷い場合は製造がストップしてしまう。オールラウンダーの人員育成と確保が課題である。（紙製容器製造業）

【卸売・小売業】

道南	・コロナ禍がいつまで続くのか予測がつかない。その間、何件の得意先が廃業してしまうのか不安です。（塩元売業一般食料品卸売業） ・コロナへの対処療法的な対応だけではなく、コロナに関わらず根本的に課題があったと思われる産業・経済対策等、精力的な取り組みを大いに期待したいです。（自動車（新車）小売業）
道央	・新型コロナを、そろそろインフルエンザと同じような扱いにしたほうがよい。大手企業なら、数人休んでも影響がないのかもしれませんが、少人数で営業している企業は、１人の休みでも、仕事に多大な影響を及ぼします。罹患者と濃厚接触者が休むと、会社自体の営業を休まなければならなくなるところもあります。また、現在部品の供給を海外に依存しているために、ロックダウンや物流の悪化等の影響で、何カ月も納品されない商品があります。部品の供給先の多様化や国内での生産増に対して支援を行い、このような事態が起きないようにしてもらいたいです。（建築材料卸売業） ・ロシアのウクライナへの侵略行為により、世界情勢、石油価格等の先行き不安、不透明感が増し経済状況がどのように変化していくか、非常に不安を感じております。（燃料小売業） ・外国人労働者の確保、農業への補助を望む。（農畜産物・水産物卸売業） ・建築業界は、４月から値上げが開始され、新築１棟あたりコストが 200 万円前後の上昇となるため、消費マインドの低下による着工数の減少が懸念される。（建築材料卸売業） ・コロナ禍、ウクライナ侵攻の影響を懸念しています。（建築材料卸売業、土木建築材料卸売業） ・長年、環境分野について産学共同研究を継続しておりますが、一中小企業の資金力では限界があるため、行政には、主管官庁との橋渡しをお願いしたいです。北海道発信の革新的技術を確立し、技術の集積と雇用の確保を図って行きたいと考えています。（衣服卸売業） ・電気部品の納期が通常１週間のところ、３～５ヶ月かかる状態で、工期内完成が難しくなっている。（電気機械器具卸売業） ・まん延等防止措置等が経済へ与える影響を考慮して、経済の立て直しを図ってほしい。今年度までの２年間はイベントの自粛が多く見られましたが、来年度以降はイベントの自粛をせずに開催方向の企業が増えてきています。ただただ、早くコロナウイルスが消滅することを願うだけです。（再生資源卸売業）
道北	・地域や企業の魅力などをデジタルで発信するために、訪問等での指導を希望します。時間はかかるかもしれませんが、行政と民間がリンクできれば素晴らしいものができると思います。（その他の飲食料品小売業）
オホーツク	・建設資材を扱っているが、３月・４月に昨年に引き続いて値上げの連絡が来ています。販売価格に転換する予定ですが、全てのお客様に納得して頂くのには苦労しそうです。（建設資材卸売業）
十勝	・人材育成が課題です。ゆとり教育により、使えない人材が増えていると思います。人の仕事を見て学ぶのではなく、教えたことしかできない人が多く、育つまでに労力を要します。それでも高い賃金を支払わなければならす、成長する前に辞めてしまう場合もあります。また、日本の防衛力にも不安を感じます。（自動車小売業） ・輸送を中心に物の価格が上昇し、対応が難しい。物価安定を図ってほしい。（農畜産物・水産物卸売業（農産物移出業））
釧路・根室	・ワクチンや治療薬の開発に率先して取り組んでほしい（婦人・子供服小売業） ・昨年から飲食店の支援金が継続されているが、不公平感があり過ぎる。本当に影響を受けている方に届くようもっと実態を把握すべきだと思います。（各種商品小売業（ダイソー）、ハンバーガー店、不動産賃貸業）

【運輸業】

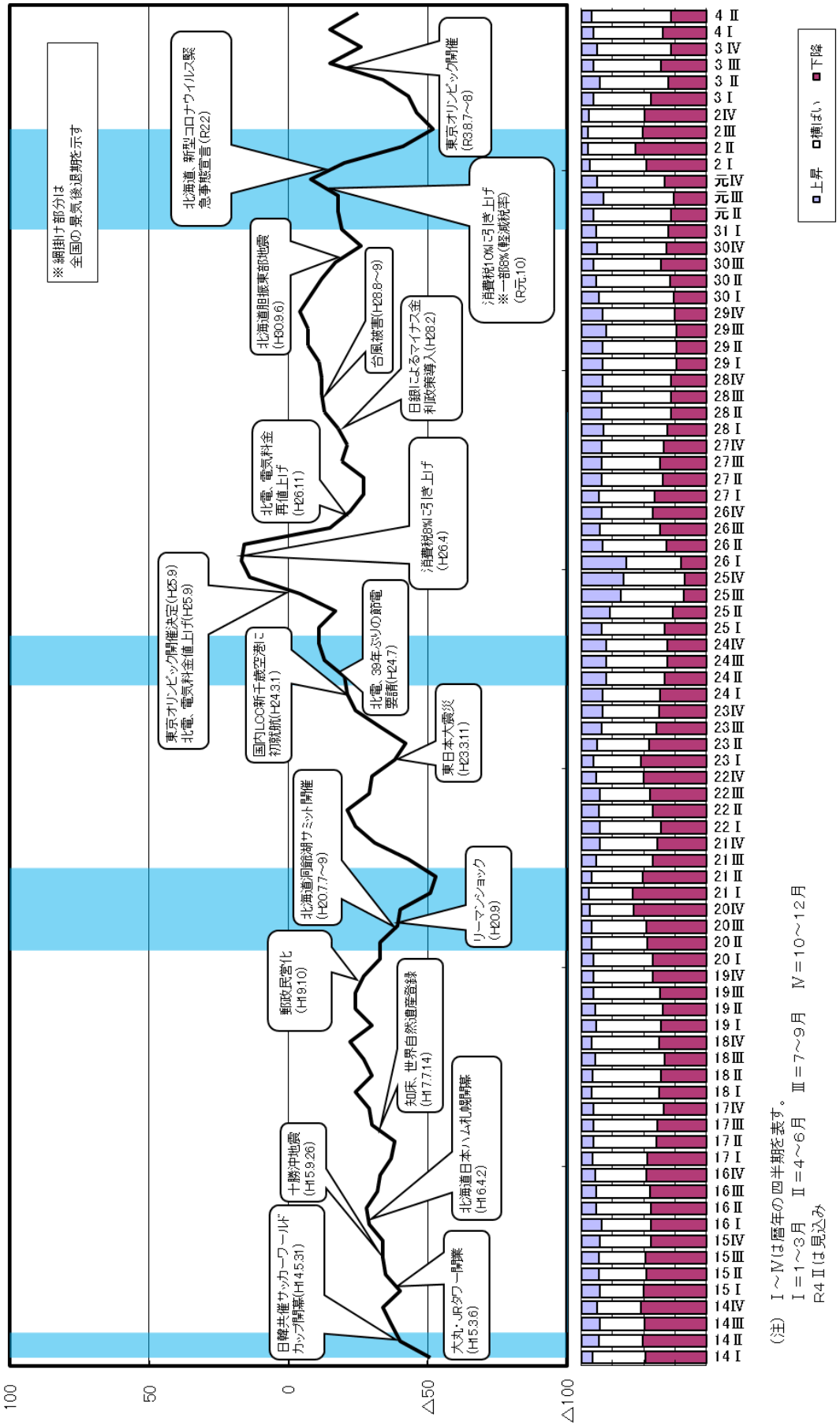
道南	・新型コロナウイルス感染症が終息しなければ、何も始まらない。（倉庫業） ・当社は商品者を運んでいる会社ですが、新車を製造している会社がコロナの影響と部品不足で生産台数を減少したことにより、運ぶ車の台数が減少し、売上高が低迷しています。（一般貨物自動車運送業）
道央	・石油元売業者への補填ではなく、暫定税率の上乗せ分の一時廃止をしてほしい。また、運送事業者に燃料費の補助などを求める。（一般貨物自動車運送業） ・燃料費高騰で車輌を動かすと赤字となり、車輌を止めることも検討しています。（特定貨物自動車運送業） ・燃料高騰対策を行ってほしい（一般貨物自動車運送業） ・コロナ対策の前に迅速な除雪対策をお願いします。除雪の遅れで交通が滞ることで、コロナに輪をかけて消費行動が低迷していると感じます。顧客の商流が低迷すると物流業はその影響を受けます。（倉庫業） ・２年以上に及び経済環境が悪化した中、コロナ禍も少しずつ改善していくと思われます。しかし、ロシアのウクライナ侵攻により、新たな経済不安を余儀なくされています。観光経済も少しずつ改善すると思われた矢先、軽油費等の値上げによる莫大な経費増は、収入が伸びても吸収しきれません。コロナによる支援金もさることながら、今後は軽油取引税等の一定期間の凍結等を希望します。（一般貸切旅客自動車運送業） ・事業用で使用している軽油への大胆な補助が頂きたいです。（倉庫業、運送業）
道北	・道独自の燃料高騰に対する支援策を期待します。（一般貨物自動車運送業） ・地方の人口減少が全産業に大きく影響しています。外国人労働者の柔軟な受入体制が必要ではないでしょうか。（一般貨物自動車運送業） ・軽油引取税を減額してほしい。（一般貨物自動車運送業） ・燃料の高騰が経営に大きな影響を与えています。半導体などの不足による車両の納期が著しく遅れているため、古い車両を修理して使用していますが、費用が増大しています。（一般貨物自動車運送業）
オホーツク	・二種免許取得のハードルを下げてほしい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、以前の売り上げが確保できず２年前の３月より月次での赤字が続いております。助成金・補助金などの充実及び借入金の返済緩和策を検討していただきたい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・新型コロナワクチンの追加接種の推進と変異ウイルスの情報の周知、地域における感染状況の正確な発表を期待します。感染状況については、風評やデマが横行しがちなので、市町村、年代、性別は正確に発表してもらったほうが、住民には有用な情報であると思います。また、費用対効果や予算の関係もあると思いますが、感染防止のための、マスク、消毒薬等の消耗品、アクリル板等の配布、あるいは購入の補助金交付などがあれば嬉しいところです。（一般貨物自動車運送業） ・交通事業者への補助金拡充を望む。（一般乗用旅客自動車運送業）
十勝	・公共事業増加を望む。（一般貨物運送業） ・燃料価格高騰で大変困っている。（一般貨物自動車運送業） ・エネルギー関係の価格の高騰が続き、建設業・運輸業に多大なダメージを与えているため、ガソリン税や軽油税を早急に撤廃してもらわなければ、この先の利益が全部吹き飛んでなくなってしまいます。この問題は、建設業・運輸業にとってはコロナ問題より重大で、長期化すれば会社の存続にかかわる重大問題であり、国が対策しない限り運転手や業者の減少による物流の混乱を招くことに必ず繋がります。国の補助は、元売りの補助にはなっていますが、末端価格には転換されていません。（一般貨物自動車運送業、土木工事業（舗装工事業を除く））

十勝	・運送業にとって燃料の高騰は直接的な打撃となる。運賃への転嫁も一企業の努力では困難であり、国主導の政策による対策を期待する。（一般貨物自動車運送業）
釧路・根室	・運送業を営んでおりますが、燃料価格の高騰が続いているため、運送コストが上昇し、先行きが不透明な状態が続いています。新型コロナウイルスの影響で売上げ減少が続く中、燃料価格高騰のダブルパンチを受け、どこまで耐えられるか分からない状態になりました。運賃も上がらず、交渉の余地もない中で、燃料サーチャージ制を導入していても未だ受け入れ先がない状況です。このため採算の合わない業務を断ることに方針転換し、少しずつですが発展的縮小を進めています。また、ここ数年乗務員不足が続き、仕事があっても稼働できないことがありましたが、仕事量の減少が続いているため余裕があるという逆転現象が起きています。業務を全員で分け合いながら復活できる日を待っていますが、以前のように戻るのか、またはこれが通常になるのか現時点で判断が難しいので抜本的な対策も取れておりません。2023 年には残業 60 時間を超えた部分の割増、2024 年には残業時間の総量規制が始まります。この変化に対応できるかどうかで将来が決まると思われますので、ここ２年が正念場だと感じます。（一般貨物自動車運送業） ・トリガ-法案の廃止を望む。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

道南	・公共事業に係る予算を十分に確保し発注してほしい（測量業） ・社員高齢化により令和４年度で自動車部門を廃止します。（自動車整備業）
道央	・コロナと共存する社会への方向転換を期待します。（産業用機械器具賃貸業） ・人員確保が困難です。（警備業） ・従業員に対して利用している助成金にかかる税金の額が大きい。まん延防止等重点措置等の対策期間中の外出制限が売上減少に直結するので、人流の抑制、人数制限がどれだけ実際に関係するのかバランスを取った対策にしてほしい。（日本料理店） ・燃料費高騰でも入浴料に転嫁できず、経営に苦慮している。（一般公衆浴場業） ・まん延防止等重点措置が出ると商売になりません。（酒場，ビヤホール） ・観光業なため、感染拡大の度に人の動きを止める政策は、経営に大きな打撃です。そろそろ他国のように海外からの観光客の受け入れ開始もお願いしたいです。（旅館，ホテル） ・タクシー業界は、ドライバーの確保が困難です。自動車整備業界の賃金が低いため、改善していただきたい。（自動車整備業） ・雇用の流動化促進を期待します。（機械修理業（電気機械器具を除く）） ・会食の制限などはやめて頂きたいです。（電気通信に附帯するサービス業）″ ・人件費が高い。（情報処理サービス業） ・じわじわと原材料費や人件費が上がっているが、宿泊料金に転嫁すれば予約が減る。どうみん割の継続やＧＯＴＯトラベルの復活を切に希望する。昨年度よりも今期の方が経営が苦しいです。（旅館，ホテル） ・経営が厳しい。（旅館，ホテル） ・コロナ対策について、感染者の扱いを、インフルエンザと同等の扱いにして頂きたい。日本人は、平時でもマスク対策など十分しているのだから、最低でも、感染者および濃厚接触者の扱いを欧米並みにしてもらわないと、世界から取り残される。（旅館，ホテル） ・時短が売上減少に直結するため、時短以外の感染拡大防止策を講じていただきたい。（リネンサプライ業） ・売上げが減少しても、各種税金、公共料金の支払いがあり、国からの支援金は、まさに命綱といった状況です。続けてのご支援をお願いしたいと思います。（旅館，ホテル）
道北	・イベントが実施されれば、当社の事業（写真撮影）は売上の回復が見込めますので、コロナへの対策もインフルエンザ同様の自己管理とし、イベントの中止は避けていただきたい。（写真業） ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の抑制・終息に向けた迅速な対応、観光事業に対する需要喚起（補助金に限らず、旅行・外出に対する雰囲気の醸成）を期待します。（旅館，ホテル） ・社員の高齢化が課題です。（自動車整備業） ・国の支援を期待します。（冠婚葬祭業） ・コロナ対策の費用が嵩んでいるため、公共事業費が抑制されるのではと危惧しています。（土木建築サービス業（測量業））
オホーツク	・事業の継続、継承が課題です。（自動車整備業） ・地域内でコロナが拡大した場合の対策をお願いしたい。（専門料理店（日本料理店））
十勝	・2022 年度の開発局の入札において、1.5%の賃上げ実施が加点となるため、賃上げの表明とその実現に向けた取り組みが、新年度の最大の課題になります。（土木建築サービス業（建築設計業））
釧路・根室	・コロナ禍で婚礼の延期が相次ぐ中、スタッフを確保し続け、人件費を支払うことに苦慮しております。（美容業）

8 業況感の長期推移



(注) Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R4Ⅱは見込み

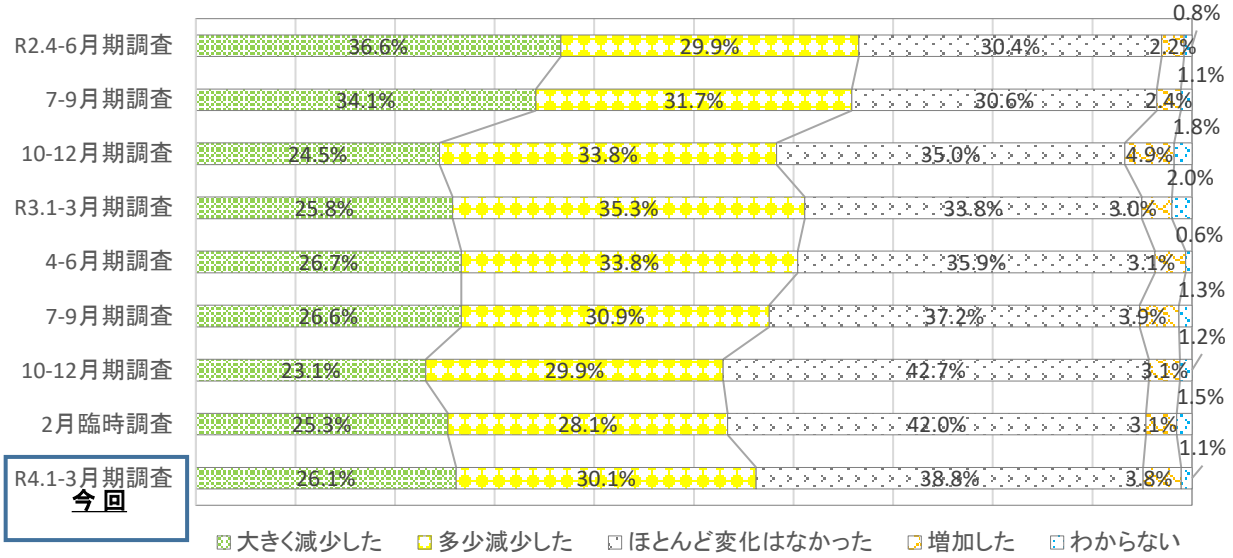
3　特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

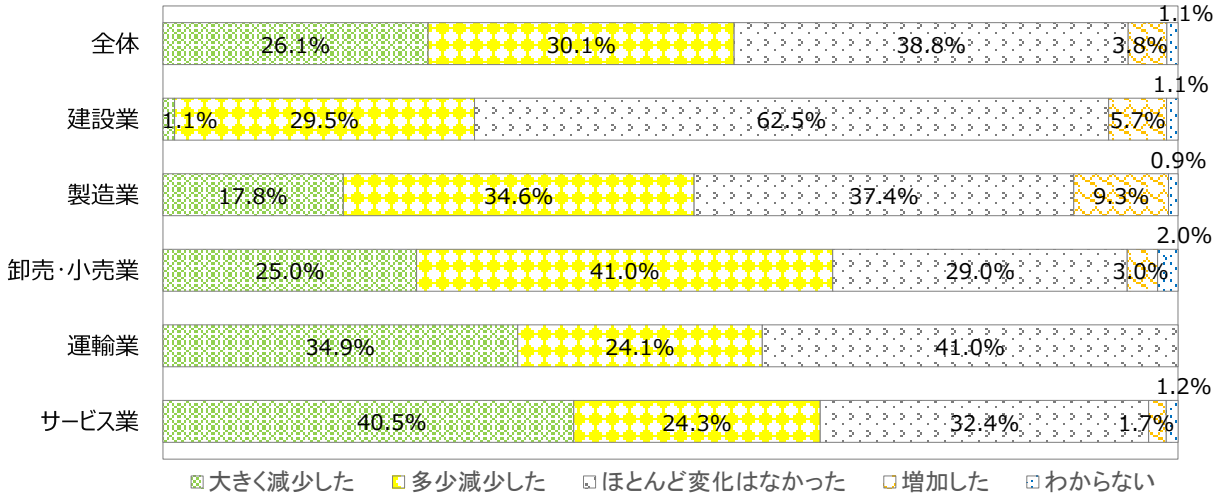
（1）　新型コロナウイルス感染症の拡大による売上･利益等への影響の程度

平年の同時期と比較した本年１－３月における売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が 26.1%、「多少減少した」が 30.1%と、合わせて 56.2%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査（10-12 月期）との比較では、「減少した」の割合は拡大している。

全　体　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 56.2%（10-12 月期：53.0%）



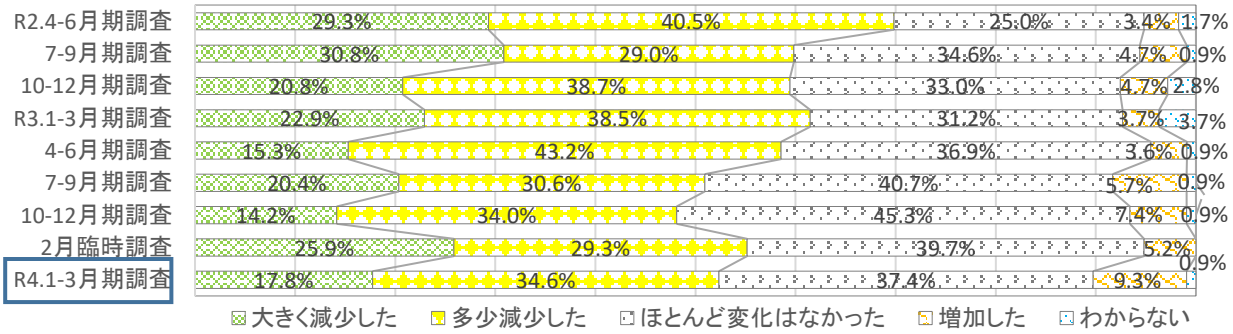
業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が 40.5%と最も大きく、次いで運輸業が 34.9%となっており、建設業が 1.1%と最も小さくなっている。



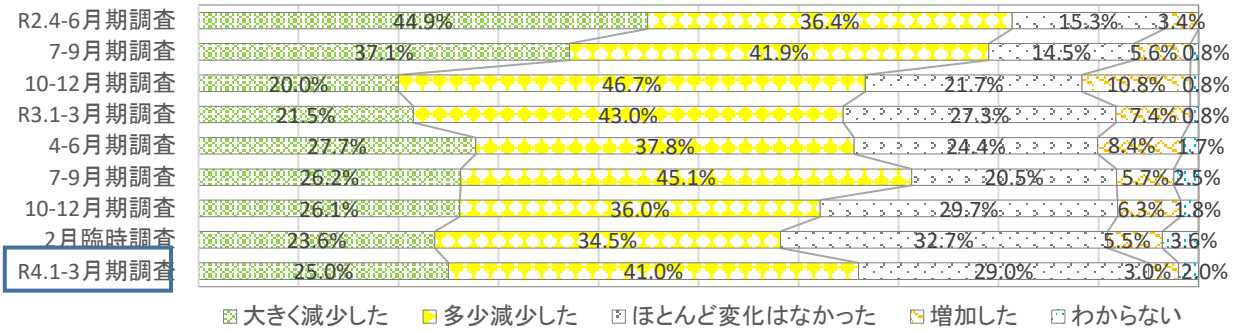
前回調査（10-12 月期）との比較では、「大きく減少した」と「多少減少した」と合わせた「減少した」の割合は、全ての業種で拡大している。

建 設 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝30.6%（10-12 月期：27.6%）

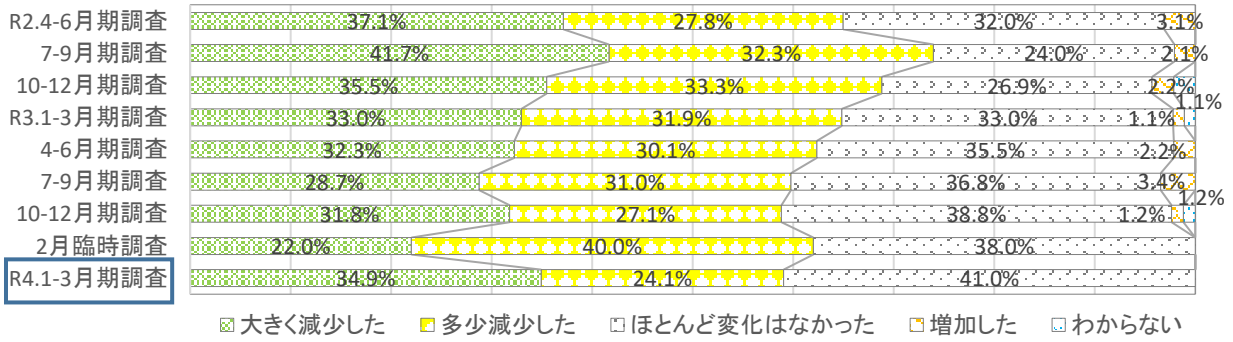
製 造 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 52.4%（10-12 月期：48.2%）



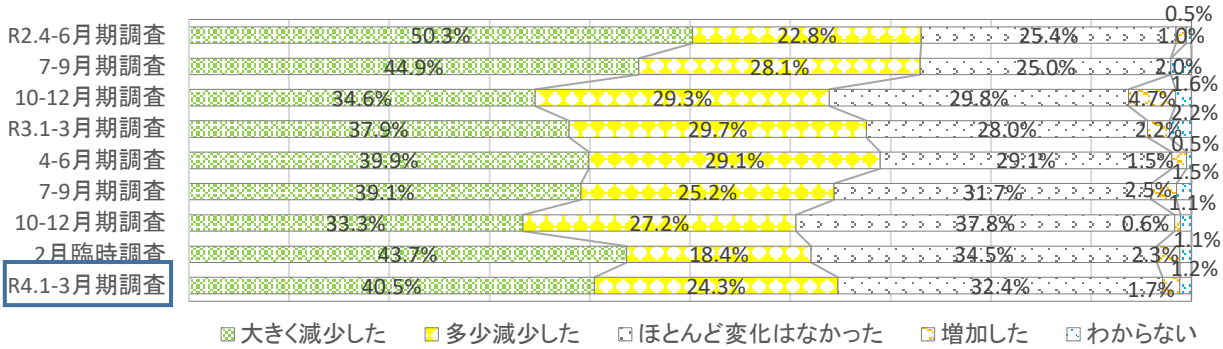
卸売・小売業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 66.0%（10-12 月期：62.1%）



運 輸 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 59.0%（10-12 月期：58.9%）

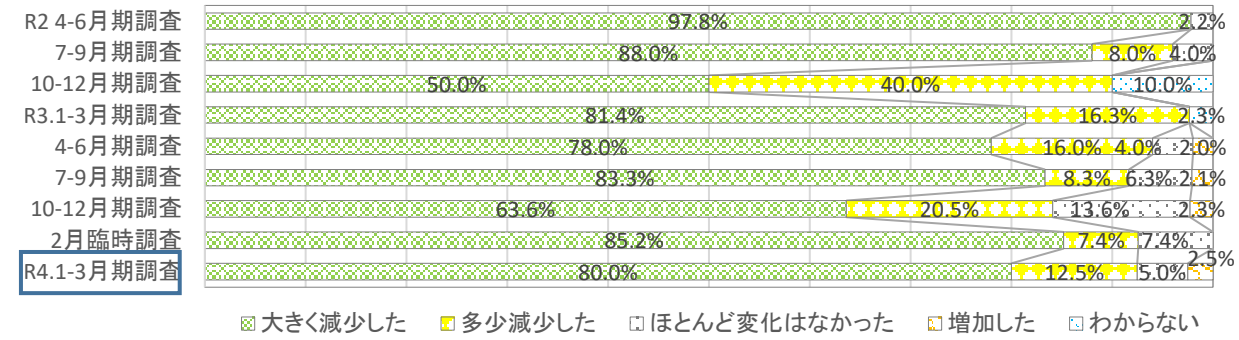


サービス業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 64.8%（10-12 月期：60.5%）

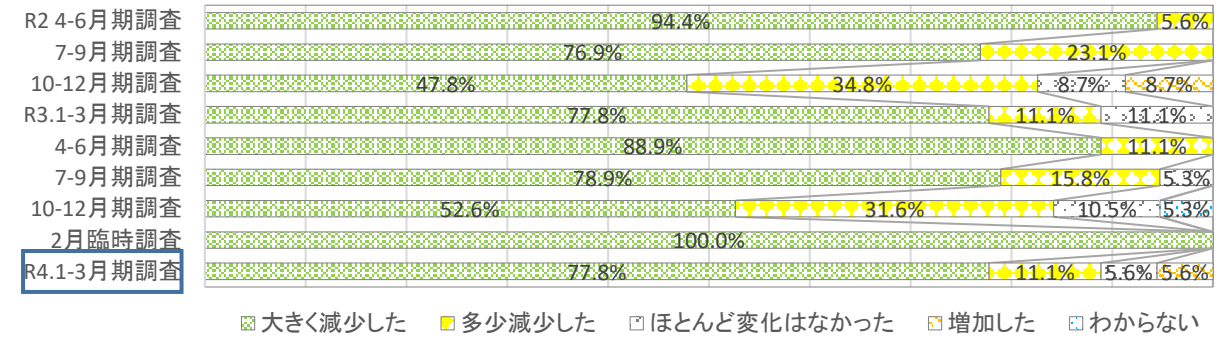


（サービス業のうち）

宿泊･旅行業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 92.5%（10-12 月期月期：84.1%）



飲 食 業　「大きく減少した」＋「多少減少した」＝ 88.9%（10-12 月期月期：84.2%）

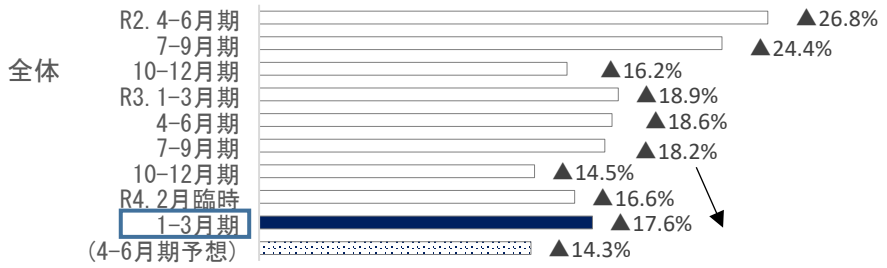


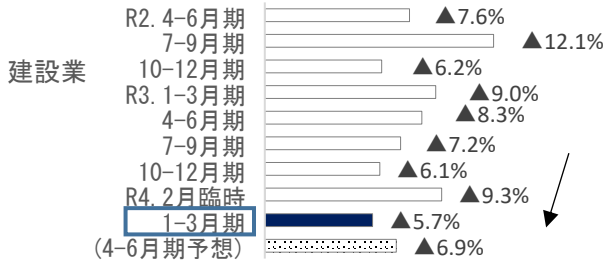
（２）売上の平年同期比減少率

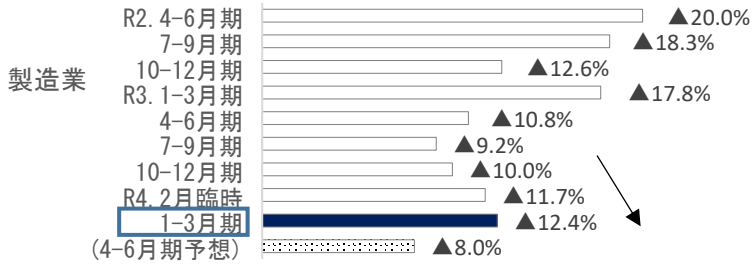
令和４年１－３月期の売上の平年同期比増減率は、全体平均では▲17.6%となり、業種別では、サービス業が▲27.6%と最も減少率が大きく、次いで運輸業が▲17.1%となっている。

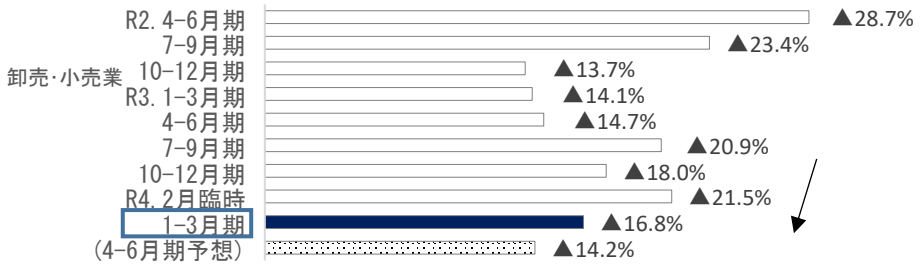
前回調査（10-12 月期）との比較では、全体で 3.1 ポイント悪化しており、業種別では、サービス業が 8.8 ポイント、製造業が 2.4 ポイント、運輸業が 1.0 ポイント、それぞれ悪化している。

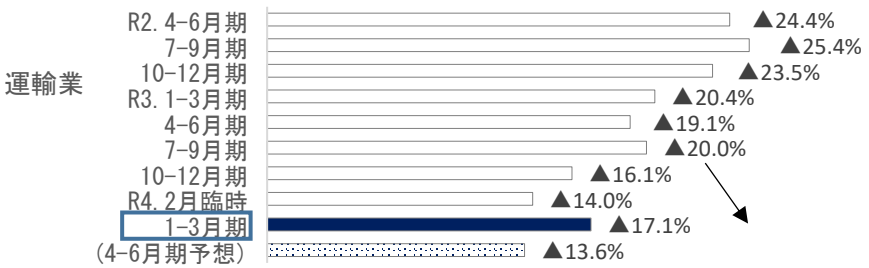
令和４年４－６月期の予想は、全体で 3.3 ポイントの改善となり、建設業を除く全ての業種で改善となっている。

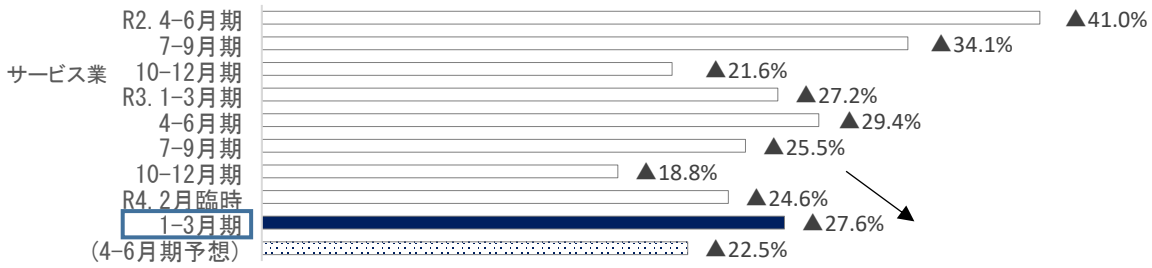






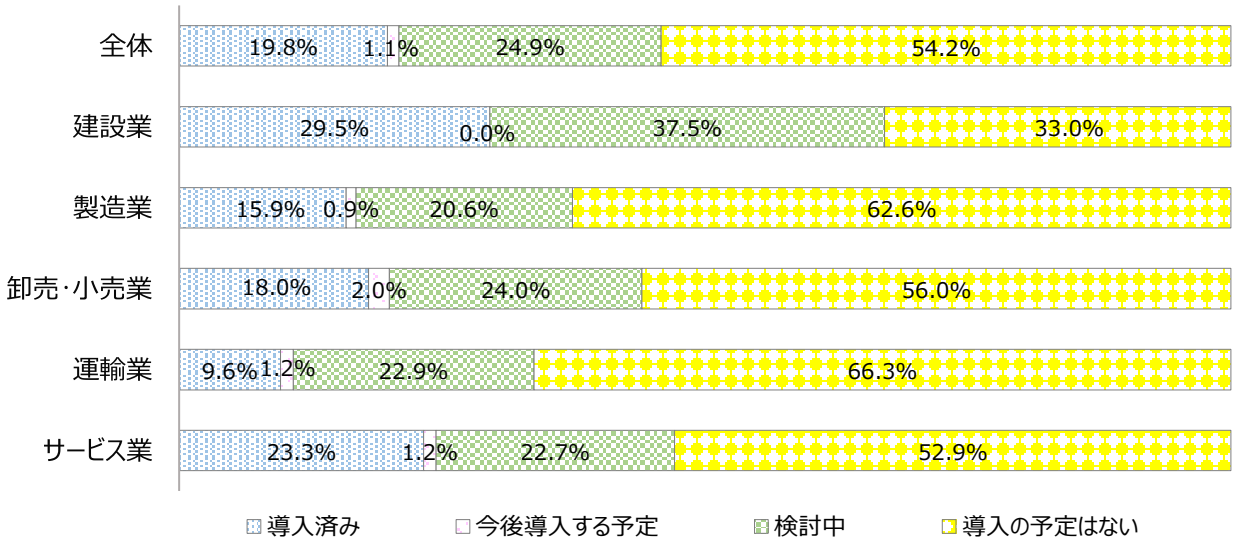



運輸業
R2. 4-6月期
7-9月期
10-12月期
R3. 1-3月期
4-6月期
7-9月期
10-12月期
R4. 2月臨時
1-3月期
(4-6月期予想)
▲24.4%
▲25.4%
▲23.5%
▲20.4%
▲19.1%
▲20.0%
▲16.1%
▲14.0%
▲17.1%
▲13.6%


サービス業
R2. 4-6月期
7-9月期
10-12月期
R3. 1-3月期
4-6月期
7-9月期
10-12月期
R4. 2月臨時
1-3月期
(4-6月期予想)
▲41.0%
▲34.1%
▲21.6%
▲27.2%
▲29.4%
▲25.5%
▲18.8%
▲24.6%
▲27.6%
▲22.5%

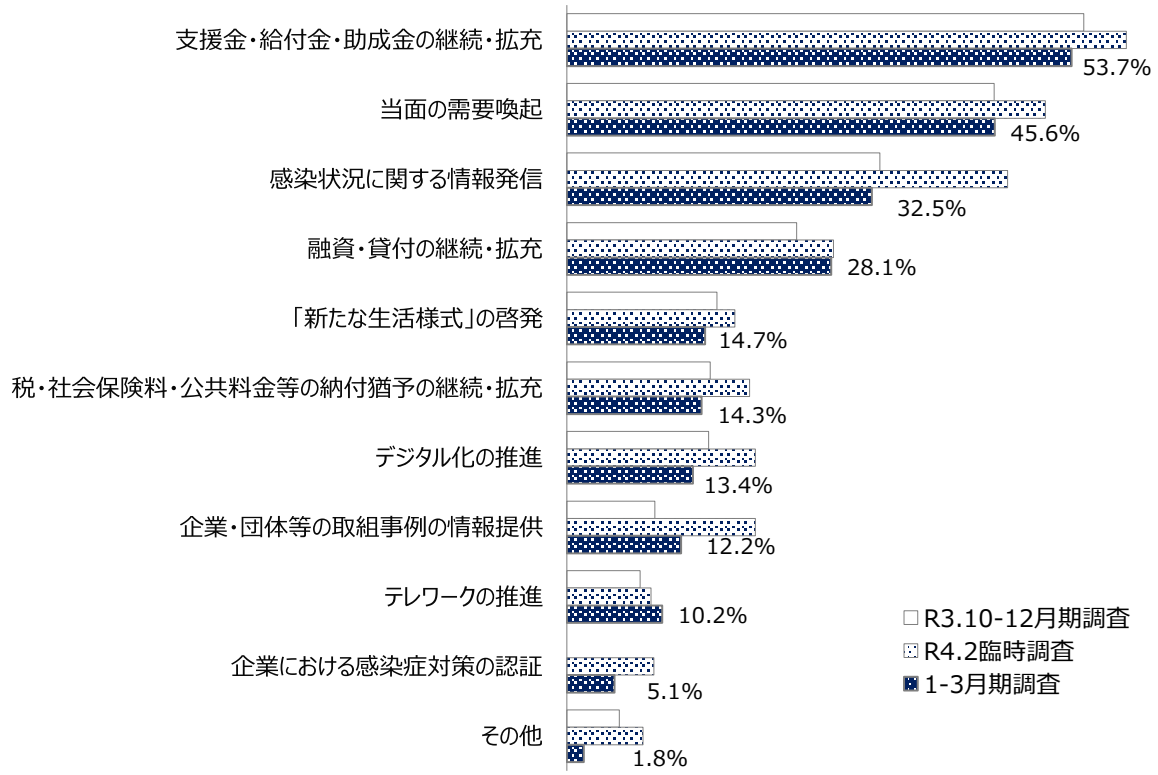
（３）テレワークの導入状況

接触機会の低減策として有効なテレワークの導入については、「導入済み」と回答した企業の割合は、全体では 19.8%となり、業種別では、建設業が 29.5%と最も大きく、運輸業が 9.6%と最も小さくなっている。



（４）行政に期待すること

行政に期待することについて最も多かった回答は、「支援金･給付金･助成金の継続･拡充」が 53.7%、次いで「当面の需要喚起」の 45.6%で、「感染状況に関する情報発信」が 32.5%となっている。（複数回答）

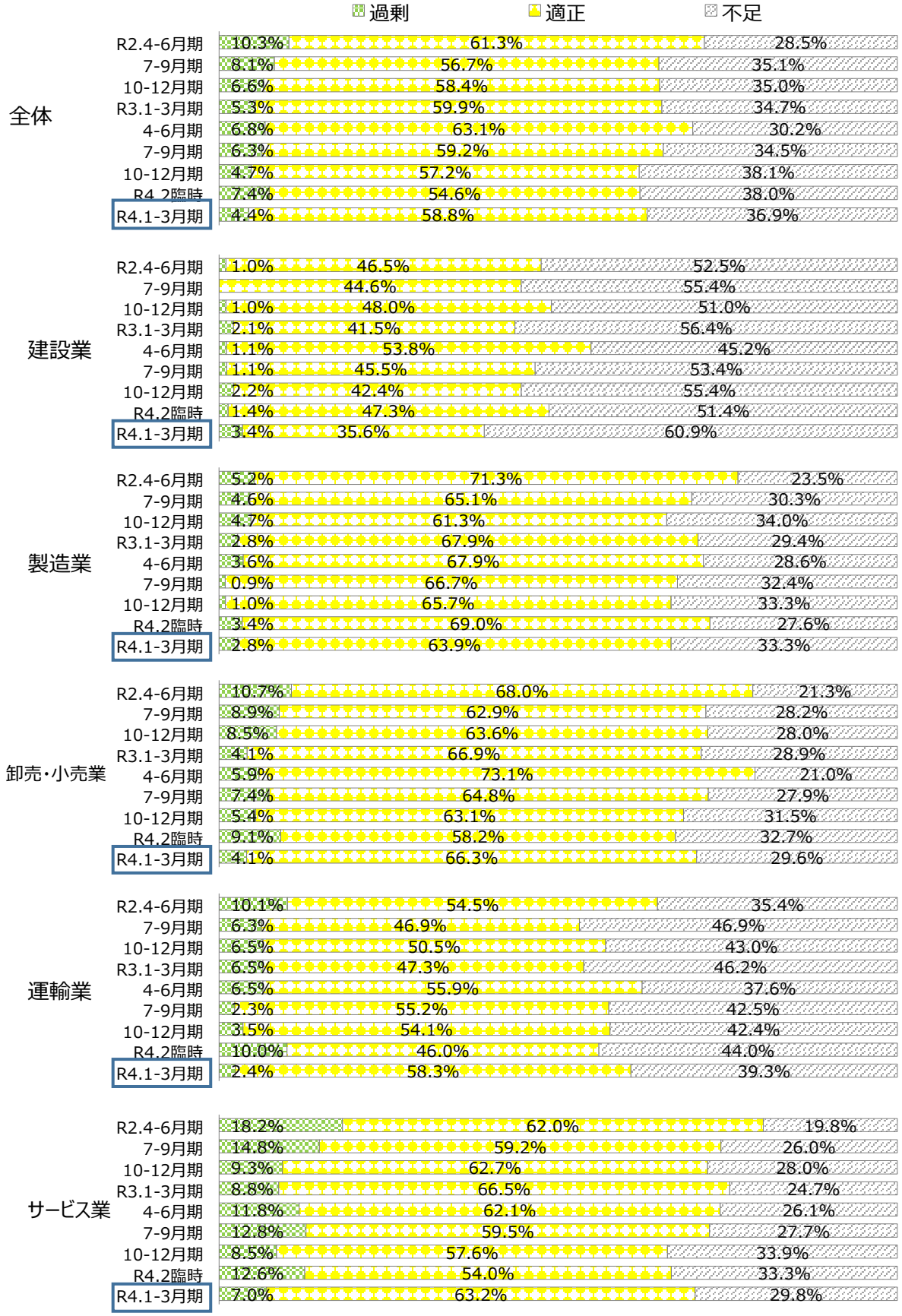


（５）正規及び非正規従業員の過不足感

①正規従業員

正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 4.4%、「適正」が 58.8%、「不足」が 36.9%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

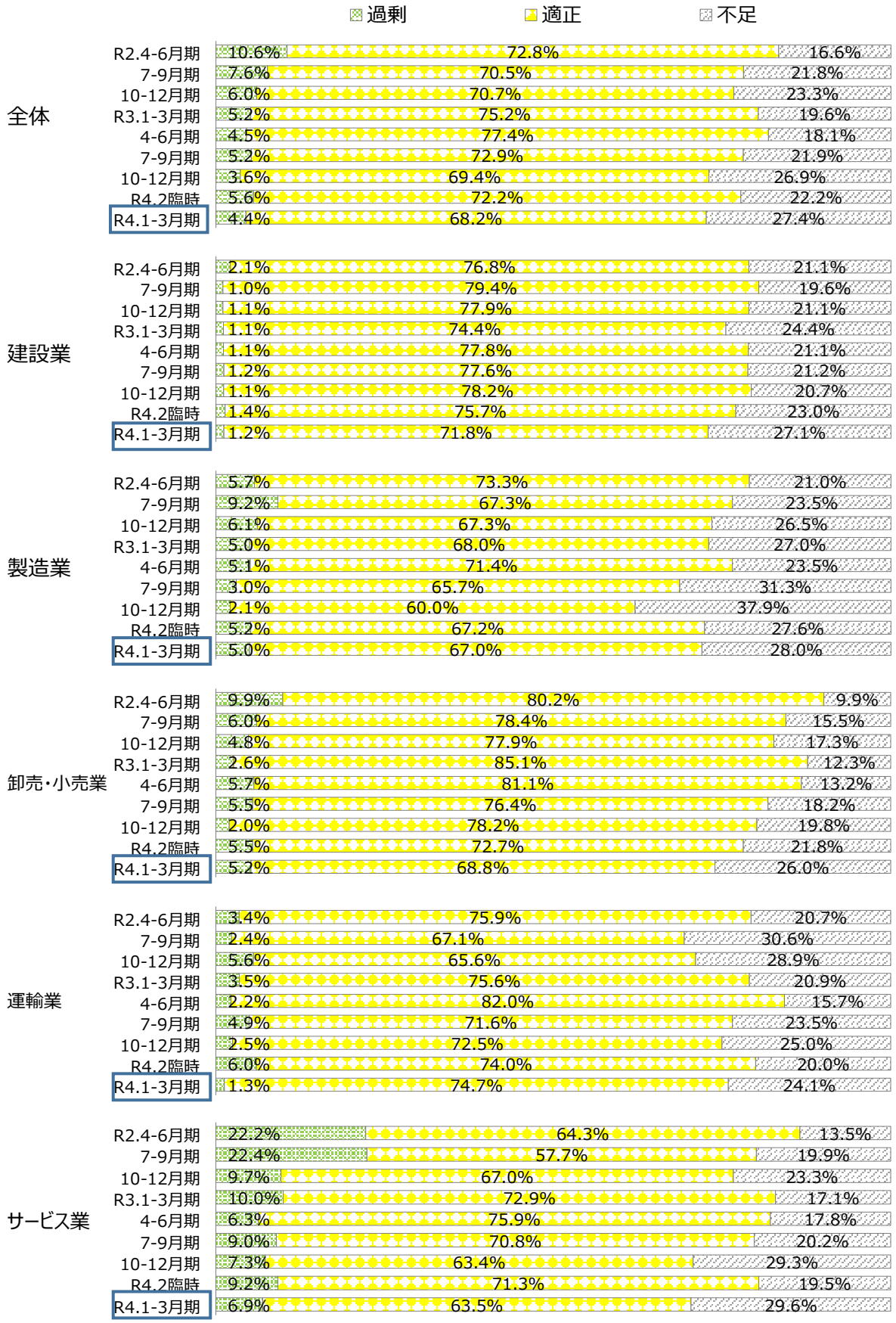
前回調査（10-12 月期）との比較では、「不足」の割合は全体で 1.2%縮小したものの、建設業の不足感が更に拡大し、高水準が継続している。



②非正規従業員

非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 4.4%、「適正」が 68.2%、「不足」が 27.4%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

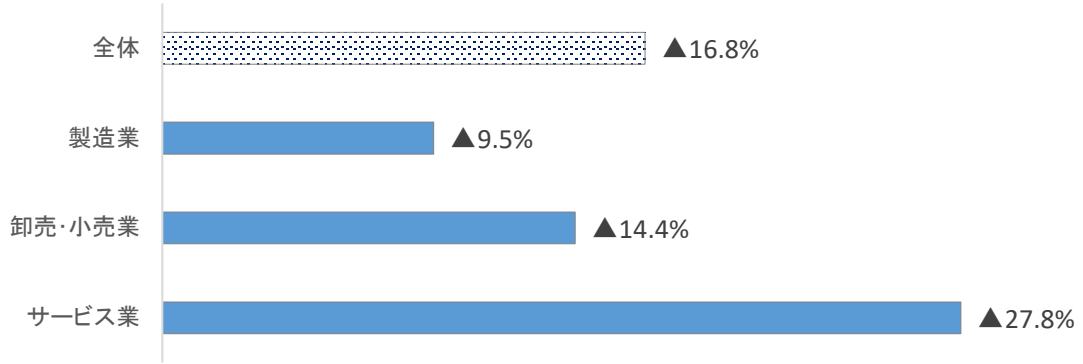
前回調査（10-12 月期）との比較では、「不足」の割合は、全体で 0.5%、業種別では建設業、卸売・小売業、サービス業で拡大し、特にサービス業の不足感が引き続き高水準となっている。



（６）販売先数・納品先数の増減と経営課題に対する今後の対策
（「製造業」・「卸売・小売業」「サービス業」のみ回答）

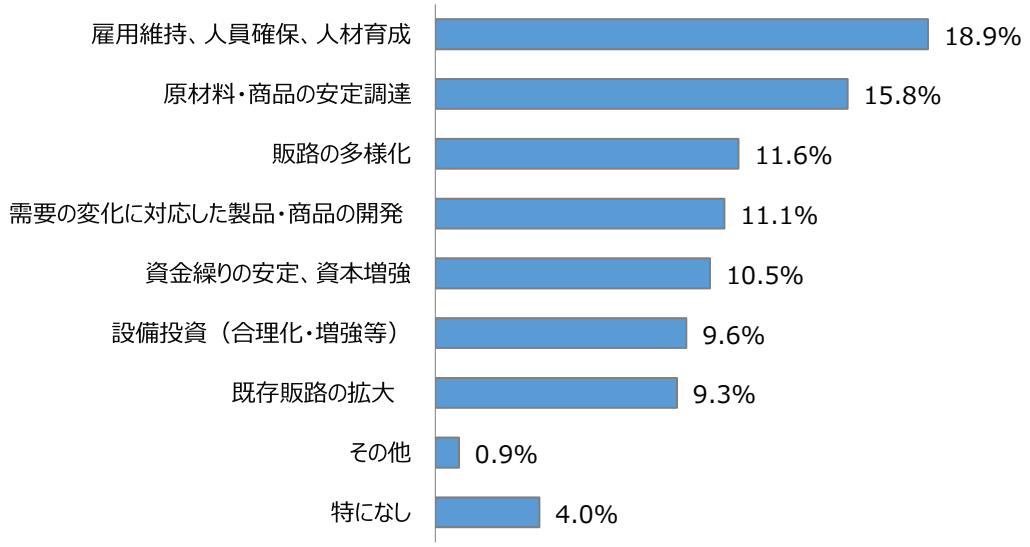
①販売先数・納品先数の平年同期比減少率

令和４年１－３月期の販売先数・納品先数の平年同期比増減率は、製造業、卸売・小売業、サービス業の全体平均では▲16.8%となり、業種別では、サービス業が▲27.8%と最も減少率が大きく、次いで卸売･小売業が▲14.4%、製造業が▲9.5%となっている。



②今後取組みたいと考えていること

今後取組みたいと考えていることについて最も多かった回答は、「雇用維持、人員確保、人材育成販路」が 18.9%、次いで「原材料・商品の安定調達」の 15.8%で、「販路の多様化」が 11.6%となっている。（複数回答）

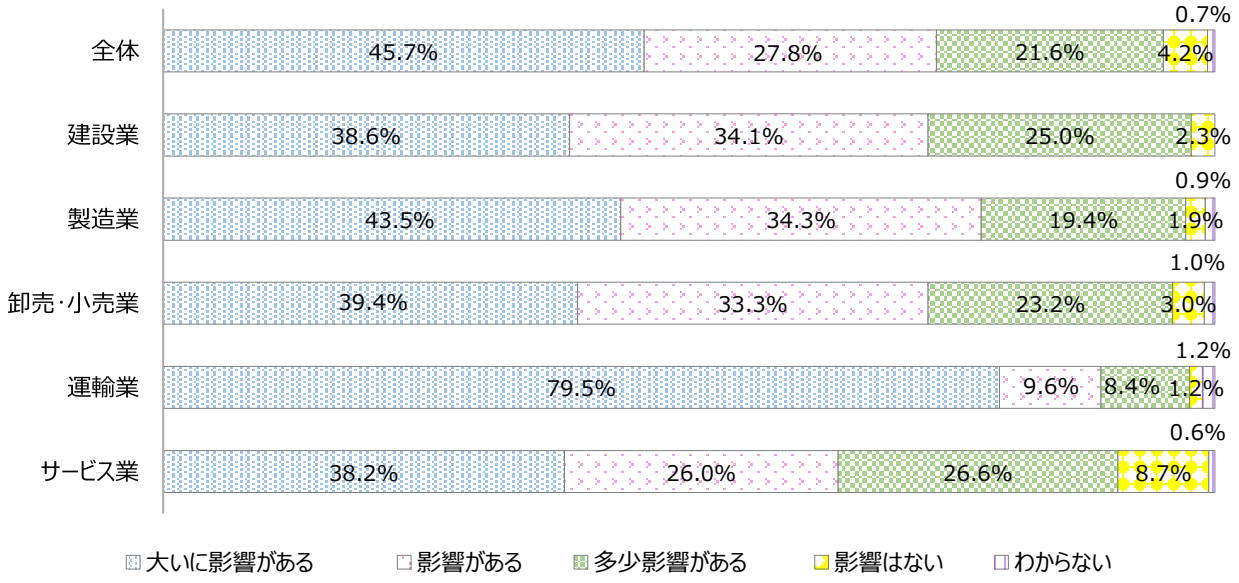


２　原油・原材料価格高騰の影響について

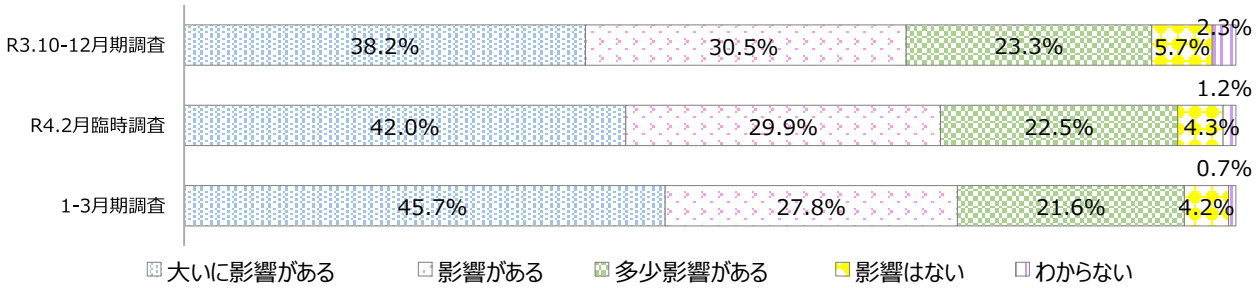
（１）経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業が 45.7%と最も多く、「影響がある」の 27.8%、「多少影響がある」の 21.6%と合わせて、95.1%の企業が「影響がある」と回答している。

業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業が 79.5%と最も大きく、次いで製造業が 43.5%となっており、サービス業が 38.2%と最も小さくなっている。

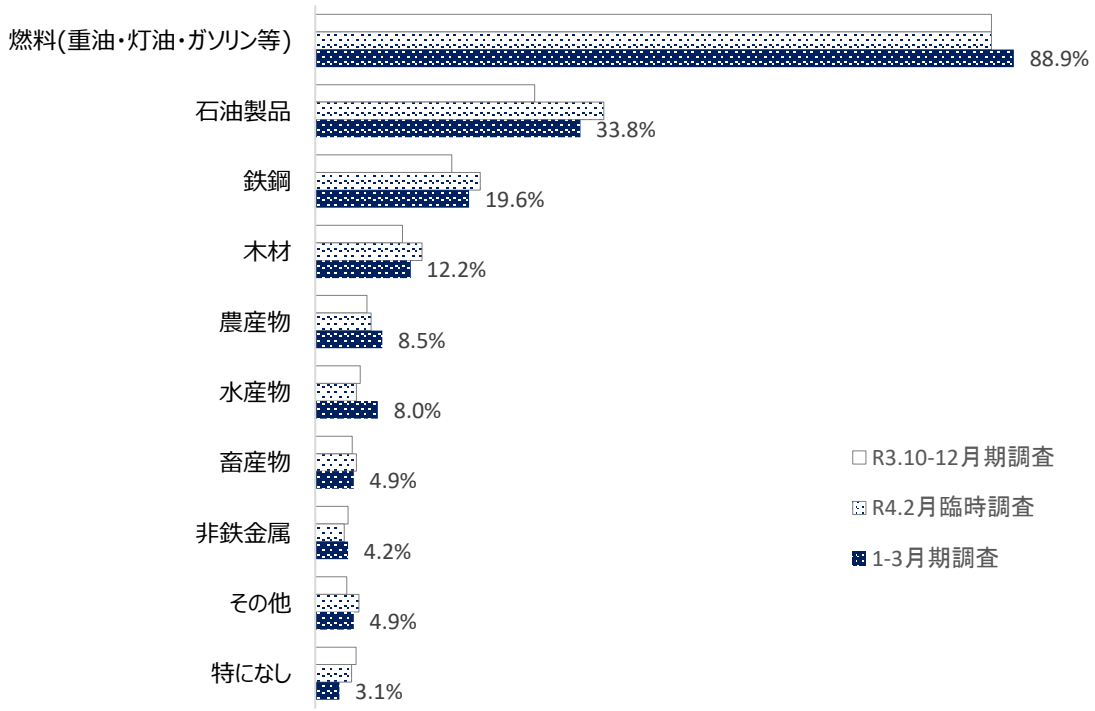


これまでの調査と比較すると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合が拡大しており、「大いに影響がある」「影響がある」、「多少影響がある」を合わせた「影響がある」と回答した企業の割合も高い水準で継続している。



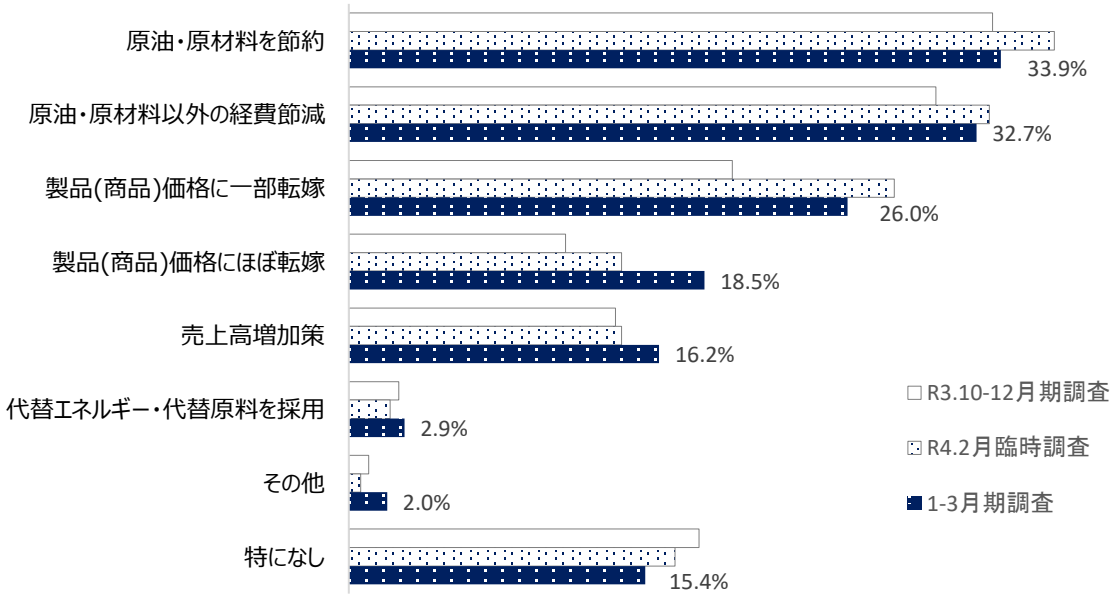
（２）経営に影響を与えている品目

経営に影響を与えている品目について最も多かった回答は、「燃料（重油・灯油・ガソリン等）」の 88.9%で、次いで「石油製品」が 33.8%、「鉄鋼」が 19.6%となっている。（複数回答）



（３）経営への影響緩和対策

経営への影響緩和対策について最も多かった回答は、「原油・原材料を節約」の 33.9%で、次いで「原油・原材料以外の経費節減」が 32.7%、「製品（商品）価格に一部転嫁」が 26.0%となっている。（複数回答）



4　調査方法

1　調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2　調査時点

令和 4 年 3 月 31 日

3　調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4　調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数（A）	回答企業数（B）	回答率（B／A・%）
総　計		**900**	**553**	**61.4**
	札幌市を除く	700	433	61.9
	札幌市	200	120	60.0
業種	建設業	125	88	70.4
	製造業	150	107	71.3
	卸売･小売業	188	100	53.2
	運輸業	131	84	64.1
	サービス業	306	174	56.9
資本金	5千万円未満	618	365	59.1
	5千万以上～1億円未満	156	107	68.6
	1億円以上	126	81	64.3
地域	道南	109	62	56.9
	道央	382	238	62.3
	札幌市を除く	182	118	64.8
	札幌市	200	120	60.0
	道北	132	85	64.4
	オホーツク	89	53	59.6
	十勝	94	57	60.6
	釧路・根室	94	58	61.7

（注）［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

5　ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200 社）】

業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「下降」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス 20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 133 回）

令和４年４月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html